平成 25 年度

施策管理報告書

【様式2】

平成 26 年 5 月

東 大 阪 市

目次

危機管理室	1
ラグビーWC誘致室	2
未収金特別対策室	3
市長公室	4
経営企画部	5
行政管理部	11
財務部	13
人権文化部	16
協働のまちづくり部	22
市民生活部	24
税務部	28
経済部	29
福祉部	36
子どもすこやか部	44
健康部	47
環境部	53
建設企画総務室	56
都市整備部	57
土木部	60
建築部	66
消防局	71
経営企画室	73
水道施設部	74
下水道部	75
総合病院	78
学校教育推進室	80
教育センター	83
教育総務部	84
学校管理部	86
社会教育部	90
人権教育室	95

－様式の見方－

部局名	各部局名（部に属さない室の場合は室名）を記載しています。
部局長名	各部の部長の氏名（部に属さない室の場合は室長の氏名）を記載しています。
部節名	後期基本計画の体系を記載しています。
基本方針	後期基本計画にある各節の基本方針を記載しています。
取り組みのあらまし	後期基本計画にある各節の取り組みのあらま시를記載しています。
指標及び実績値	後期基本計画にある各節の3つの指標とその実績値を記載しています。
主な実施事業及びその評価	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みのあらましNo. 及び実施計画事業名欄については、この施策に該当する第2次実施計画の事業名を記載しています。 ・後期基本計画期間における評価欄については、当該事業における事業管理報告書の平成25年度目標達成度（A～Dの評価）を記載しています。 平成25年度目標に対する実績の割合が、 A：100%以上　　B：80%以上100%未満 C：50%以上80%未満　　D：50%未満 目標が2つの場合は、 A：4点　B：3点　C：2点　D：1点として 8～7点=A、6～5点=B、4～3点=C、2点=D ・平成25年度目標達成度別事業数欄については、この施策に該当する事業の「A」「B」「C」「D」それぞれの事業数を記載しています。
施策評価	施策の基本方針に沿ってどの程度進捗したかを、指標と実績からみた評価について記載しています。
今後の施策の進め方	施策評価の結果を踏まえ、今後の施策実現のための取り組みについて記載しています。
施策実現状況の評価	施策の担当部局として当該施策の実現に向けての貢献度を表すため、施策が実現できているかの状況を4段階評価で記載しています。

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	危機管理室
部局長名	鳥居 嘉弘

第5部 第27節 危機や災害への備えが万全なまち

【基本方針】

危機や災害は突然やって来ます。いざという時に市民の生命や体、財産を守り、被害を最小限にとどめ、早期の復旧を行うため、また、避難生活を少しでも安定して過ごせるよう、日ごろからの備えが万全なまちにします。

そのため、さまざまな事態を想定した危機管理体制を整備します。また、市民の自主的な活動を支援することで地域の安全を守るようにします。

さらに、消防力の強化、防災拠点の整備、都市基盤の整備や耐震化などにより、災害に強い住まいとまちづくりを進めます。

【取り組みのあらまし】

1 危機管理体制を整えて、いざという時に備えます	5 水害や土砂災害からまちを守ります
2 地域における防災・防火・防犯に向けて取り組みます	6 国民保護体制を整えて、万一来襲に備えます
3 消防力を強化し、市民生活を守ります	7
4 都市基盤の耐震化、避難所整備を進めます	8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 危機や災害への備えが万全なまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			30.5									UP
2 雨水増補管の整備率	%	77.0	79.7	80.0									% 92.0
3 市庁舎、保健所などの市の防災関連建築物の耐震化率	%	88.1	88.3	89.0									% 100

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 防災情報通信ネットワーク事業	D	D	A									○
2	1 危機管理体制整備事業	A	A	D									○
3	1 地域防災計画の推進	D	D										
4	1 防災センター整備事業			A									
5	1 大阪府防災行政無線再整備事業			-									
6	2 自主防災組織育成事業	B	D	A									○
7	2 青色防犯パトロール活動支援事業			A									
8	2 地域安全センター設置事業			D									
9	2 青色防犯パトロール事業			A									
10	4 備蓄物資整備事業	A	A	A									○
平成25年度目標達成度別事業数		A	6	B	0	C	0	D	2				

【施策評価】

防災行政無線のデジタル化により、避難所及び災害関連施設へ半固定型無線機を設置することで、危機管理センターとの相互通信を可能とした。また、屋外スピーカーを従来の8基から203基に増やし音声伝達範囲を拡大した。危機管理センターの防災システムで、市内での災害状況や必要物資の状況把握が瞬時に可能となった。自助の面では、自主防災組織が行う防災訓練を参加型から、企画実践型にすることで地域防災力の向上が図られた。地域防災計画の防災体制についても、予防活動と災害対策活動を分けて表記することで、各所属の役割を明確にした。

【今後の施策の進め方】

防災体制及び危機管理センターの機能を最大限に活用するために、日頃の職員訓練及び研修を継続して実施する。地域での自主防災組織の訓練については、避難所運営訓練等、新たな訓練の検討を行う。また、職員の防災体制については、年次で検証を行い地域防災計画に反映させる。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	ラグビーワールドカップ誘致室
部局長名	栗橋 秀樹

第2部 第12節 スポーツを楽しめるまち

【基本方針】

「ラグビーのまち東大阪」としてラグビーの持つイメージを生かし、スポーツに対する市民の関心や意欲を高め、市民生活に健康と豊かさをもたらすことができるよう、スポーツを楽しめるまちをつくります。そのため、市民がスポーツへの関心を高めることができる、さまざまなスポーツを楽しむ機会を提供します。また、市民が安全で利用しやすい施設でスポーツを日常的に行えるようにします。そして、それらの機会を通じて、市民の健康づくりや青少年の健全な育成につなげます。

【取り組みのあらまし】

- 1 だれもが身近でスポーツに親しめる機会を提供します 5
- 2 安全で利用しやすい施設整備を進めます 6
- 3 「ラグビーのまち東大阪」のまちづくりを進めます 7
- 4 8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 生涯を通してスポーツを楽しめるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			33.1									UP
2 市民スポーツ大会等の参加者数	人	64,339	59,093	58,971									UP
3 東大阪アリーナの延べ利用者数	人	581,271	644,175	538,768									UP

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	3 ラグビーワールドカップ 2019近鉄花園ラグビー場誘致事業	D	D	C									○
2	3 ふるさとづくり推進事業	B	B	A									○
3	3 大規模スポーツ施設運営補助事業	B	C	A									
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	2	B	0	C	1	D	0				

【施策評価】

市民がスポーツを身近に感じてもらえるように様々な事業を実施している。その中でも、「ラグビーのまち東大阪」として、ラグビーを通じたまちづくりを推進していく中でもラグビーワールドカップ2019近鉄花園ラグビー場への誘致事業は、大きなウェイトを占めていると考えられる。この誘致事業に関しては、様々な事業を展開してきた。指標である「署名人数」の伸び悩みにより、評価が「C」ではあるが、引き続き精力的に事業の展開を進めていく。

【今後の施策の進め方】

市民のスポーツ活動の場をより充実させることを目的の一つとしている、大規模スポーツ施設運営補助事業を運営するにあたり、本室としても、その機会の提供などをより一層図っていきたいと考えている。また、今年度は、ラグビーワールドカップ2019の開催都市が正式に決定する予定である。本市の中核をなす施設であるラグビー場で世界3大スポーツの一つと言われるラグビーワールドカップを開催することは、「ラグビーのまち東大阪」を表明する本市としては、大変重要なことであり、施設の所有者である近鉄との協議を積極的に進めていく必要がある。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	未収金特別対策室
部局長名	森井 秀文

行財政編 効率的で健全な行財政運営が行われるまち

【基本方針】

地方自治体の基本的な役割である「住民の福祉の増進」を果たしていくためには、市の将来を見越し、社会経済情勢の変化などにも十分に対応ができる「強い自治体」となる必要があります。そのため、市民ニーズや社会情勢などに対応できる体制づくりや、職員の能力向上、財政基盤の強化、業務の電子化などを進めることにより、効率的かつ健全な行財政運営が行われるまちにします。

【取り組みのあらまし】

- 1 将来を見越した行財政改革に取り組みます 5
- 2 これからの行政運営を担う人材を確保し、育成、活用します 6
- 3 歳入を確保し、市役所の財政力を向上させます 7
- 4 市役所の電子化を進め、市民の利便性や事務の効率を向上させます 8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 効率的で健全な行財政運営が進められていると思う市民の割合	%			22.2										UP

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 未収金特別対策事業			未									○
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	0	B	0	C	0	D	0				

【施策評価】

- ・ 収納確保対策行動計画の着実な実施及び徴収業務実施により、市の未収金額は減少しつつある。
- ・ 債権管理マニュアルの策定、研修の実施により、市役所全体の徴収力が向上した。

【今後の施策の進め方】

- ・ 歳入の確保及び市民間の公平性を守るために、更に市としての徴収力を高めていく必要がある。
- ・ 引き続き徴収事務担当職員の能力向上、徴収ノウハウの普及に努めていきたい。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	市長公室長
部局長名	山本 吉伸

第1部 第5節 開かれた市役所のあるまち

【基本方針】

市民には「知る権利」が、市役所には「説明責任」があります。市民が主体となったまちづくりの実現のためには、開かれた透明性の高い市役所であることが重要です。そのため、個人情報の保護には十分配慮した上で、積極的に情報を受発信するとともに、市民と市役所が互いの立場を尊重した、対話と参加の機会を設けます。また、市役所業務は常に説明責任を伴い、職員一人ひとりが市役所の広報広聴を担うという認識を持ち、より一層身近で市民に開かれた市役所をめざします。

【取り組みのあらまし】

- 1 市民の声に基づいて市政を進めます 5
- 2 市政にかかわる情報を分かりやすく発信します 6
- 3 市役所が取り扱う市民の個人情報を守ります 7
- 4 8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 市役所は市民の意見を広く聴き、情報公開が進んでいると思う市民の割合	%			28.1									UP
2 市ホームページのアクセス件数	件	136万	140万	133万									件 250万 UP
3 市職員の情報セキュリティポリシー研修受講者数	人	551	1,183	916									UP

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 市民相談業務	B	B	A									
2	1 市政世論調査	B	B	B									
3	2 子ども市政だより発行业	B	B										
4	2 市政だより発行业	A	A	B									
5	2 ウェブサイト整備事業	B	B	B									
6	2 市政情報番組提供事業	D	D	C									
7	2 情報公開制度の推進	D	B										
8	3 個人情報保護制度の推進	A	B										
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	3	C	1	D	0				

【施策評価】

広報事業の充実ということで、「市政だより」の文字拡大と紙面のカラー化による「見やすく・より分かりやすい」内容へと改善した。数値目標に達していないということで、B評価としているが、内容は十分評価できる。今後も引き続き、市民に有効な情報をいろいろな広報媒体を活用し発信していきたい。

【今後の施策の進め方】

23年度にウェブサイト（HP）の改善を行ったが、今年度さらに改善を加え、リニューアルを図る。また、広聴事業においても、市の政策形成過程において市民が参加する機会を提供することが重要であり、今後IT機器を活用した「(仮称)市政モニター事業」の具体化などの取り組みを進めていく。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	経営企画部
部局長名	甲田 博彦

第2部 第6節 文化に親しめるまち

【基本方針】

文化は心を豊かにし、生きがいを与えてくれます。長い歴史によって地域で育まれてきた、地域の特色を生かした文化に親しみ、大切に思う心を育みます。

そのため、あらゆる活動に文化の視点を取り入れるとともに、個性あふれる豊かな文化を発掘します。また、文化的な資源、情報を発信します。さらに、文化やその担い手を育み、市民が自ら文化活動に取り組める環境や、身近に文化に親しむ機会を提供します。

【取り組みのあらまし】

- 1 あらゆる施策に文化の視点を取り入れます 5
- 2 魅力ある文化情報を把握し、発信します 6
- 3 文化施設を有効に活用します 7
- 4 文化に親しむ機会を提供します 8

指 標	単 位	実 績 値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 文化に親しめるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			35.7									UP
2 文化関連施策の実施件数	件	97	81	82									120
3 文化施設の延べ利用者数	人	333,877	325,396	312,096									500,000

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	3 公共施設再編整備事業			C									○
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	0	B	0	C	1	D	0				

【施策評価】

平成25年11月に「東大阪市公共施設再編整備計画」を策定しました。再編整備計画の中では老朽化や耐震性に課題のある市民会館及び文化会館の機能統合を行い、新市民会館を旧中央病院跡地に整備する計画としています。また、現在暫定図書館としてヴェルノール布施に移転している永和図書館ですが、再編整備計画では荒川庁舎跡地に新永和図書館を整備する計画としています。さらには四条の家・東診療所跡には東部地域仮設庁舎として使用後、リニューアル工事を行い、文化複合施設として新東部地域図書館(旧旭町図書館)、郷土博物館、埋蔵文化財センター等を集約する計画とし、課題のあった文化施設の整備方針を決定しました。

【今後の施策の進め方】

「東大阪市公共施設再編整備計画」に基づき、文化施設の整備を進めていき、市民が文化活動に取り組める環境を整えていきます。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか				施策実現状況の評価
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない	
				②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	経営企画部
部局長名	甲田 博彦

第2部 第8節 **多くの国・地域や人の交流が育まれるまち**

【基本方針】

国籍や民族の異なる人々が、互いの考え方や文化、習慣の違いを認め合い、すべての人が自分らしく生き、交流が育まれるまちであることが大切です。
 そのため、多言語で必要な情報を入手できるようにするとともに、異なる文化を持つ市民が理解し合うための機会をつくります。さらに、まちのよさを生かした交流を進めるため、まちの魅力的な情報を提供し、広く内外の人にもそのよさを伝えることで、訪れたいまちをめざします。

【取り組みのあらまし】

1 外国籍住民を支援し、社会参加を進めます	5 東大阪市の魅力をつくり、発掘し、発信します
2 市民に多文化共生の大切さを伝えます	6
3 諸外国との交流、協力を進めます	7
4 交流の機会や場所を増やします	8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 多くの国・地域や人の交流が盛んだと思う市民の割合	%			26.8										UP
2 国際情報プラザの多言語相談件数	人	1,145	1,319	1,022										人 960
3 国際交流や多文化理解に関するイベントの延べ参加者数	人	24,135	23,763	25,011										人 28,000

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1	5 東大阪市魅力アピール推進事業	A	B	A										○
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	0	C	0	D	0					

【施策評価】

まちの魅力的な情報を提供し、広く内外の人にもそのよさを伝えることで、訪れたいまちをめざします。東大阪カレーパン会による東大阪市民ふれあい祭りや全国高等学校ラグビーフットボール大会などのさまざまなイベントへ出店をすることで、認知度を高めています。また、新たにオリジナル年賀状や魅力リーフレットの作成を実施し、本市の魅力を市内外へ発信しました。

【今後の施策の進め方】

東大阪カレーパン会の認知度をさらに高めるとともに、本市の魅力を広くPRする方策を調査・研究していきます。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
①

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	経営企画部
部局長名	甲田 博彦

第2部 第9節 **いくつになっても学べるまち**

【基本方針】

豊かな暮らしや充実した人生を送るため、市民が生涯を通して主体的に学び合い育ち合い、自らを高めていくことができるまちづくりを進めます。

そのため、市民が学べる「場所」や「機会」の提供や、「人材」に関する情報などを手に入れやすい生涯学習の環境づくりを進めます。また、市民自らが、あらゆる場所において、あらゆる機会を通じ、生涯にわたって楽しく学べるよう支援します。

【取り組みのあらまし】

- 1 生涯学習に関する情報を手に入れやすくします 5
- 2 利用しやすい生涯学習の場を提供します 6
- 3 参加しやすい学習機会を提供します 7
- 4 生涯学習を支える人材を発掘します 8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 生涯学習活動が盛んだと思う市民の割合	%			27.3									UP
2 生涯学習に関する講座やイベントの延べ参加者数	人	715,212	808,419	未									人 873,000
3 市民一人当たりの図書貸し出し冊数	冊	3.94	3.87	3.90									冊 4.27

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	2 公共施設再編整備事業			C									○
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	0	B	0	C	1	D	0				

【施策評価】

平成25年11月に「東大阪市公共施設再編整備計画」を策定しました。再編整備計画の中では老朽化や耐震性に課題のある市民会館及び文化会館の機能統合を行い、新市民会館を旧中央病院跡地に整備する計画としています。また、現在暫定図書館としてヴェルノール布施に移転している永和図書館ですが、再編整備計画では荒川庁舎跡地に新永和図書館を整備する計画としています。さらには四条の家・東診療所跡には東部地域仮設庁舎として使用後、リニューアル工事を行い、文化複合施設として新東部地域図書館(旧旭町図書館)、郷土博物館、埋蔵文化財センター等を集約する計画とし、課題のあった文化施設の整備方針を決定しました。

【今後の施策の進め方】

「東大阪市公共施設再編整備計画」に基づき、文化施設の整備を進めていき、市民が文化活動に取り組める環境を整えていきます。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	経営企画部
部局長名	甲田 博彦

第5部 第27節 危機や災害への備えが万全なまち

【基本方針】

危機や災害は突然やってくる。いざという時に市民の生命や体、財産を守り、被害を最小限にとどめ、早期の復旧を行うため、また、避難生活を少しでも安定して過ごせるよう、日ごろからの備えが万全なまちにします。

そのため、さまざまな事態を想定した危機管理体制を整備します。また、市民の自主的な活動を支援することで地域の安全を守るようにします。

さらに、消防力の強化、防災拠点の整備、都市基盤の整備や耐震化などにより、災害に強い住まいとまちづくりを進めます。

【取り組みのあらまし】

1 危機管理体制を整えて、いざという時に備えます	5 水害や土砂災害からまちを守ります
2 地域における防災・防火・防犯に向けて取り組みます	6 国民保護体制を整えて、万一来襲に備えます
3 消防力を強化し、市民生活を守ります	7
4 都市基盤の耐震化、避難所整備を進めます	8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 危機や災害への備えが万全なまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			30.5									UP
2 雨水増補管の整備率	%	77	79.7	80.0									% 92.0
3 市庁舎、保健所などの市の防災関連建築物の耐震化率	%	88.1	88.3	89.0									% 100

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	4 公共施設再編整備事業			C									○
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	0	B	0	C	1	D	0				

【施策評価】

平成25年11月に「東大阪市公共施設再編整備計画」を策定しました。再編整備計画を策定したことにより、老朽化や耐震性に課題のある市民会館・永和図書館の建替えや、防災関連施設に位置づけられている旭町庁舎の建替え等、早急に課題を解決しなければならない公共施設の整備方針を決定しました。

【今後の施策の進め方】

「東大阪市公共施設再編整備計画」に基づき、安全性に問題のある公共施設の整備を早急に進めていきます。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況の評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	経営企画部
部局長名	甲田 博彦

第5部 第31節 安全で便利な交通機関や道路のあるまち

【基本方針】

だれもが、安全で支障なく目的地まで行くことができ、人や物の流れを円滑にすることで経済活動が盛んになるよう、安全で便利な交通機関や道路のあるまちをつくります。

そのため、鉄道やモノレール、バスなどの公共交通機関や道路網の整備を進めます。また、駅や駅前交通広場などの人の集まる施設や場所を、だれもが使いやすいようにします。

さらに、駐車場や駐輪場などの交通関連施設の整備を進めるとともに、交通マナーの向上に取り組みます。

【取り組みのあらまし】

- 1 公共交通の整備を一層進めます 5
- 2 使いやすく安全な道路を提供します 6
- 3 交通ルールを守り、だれもが安心して使える道路にします 7
- 4 8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 安全で便利な交通機関や道路のあるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			42.4										UP
2 駅周辺の1日の放置自転車台数	台	1,262	912	777										台 2,600
3 都市計画道路の整備率	%		46.9	未										% 51.2

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 大阪モノレール計画	B	B	A									○
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	0	C	0	D	0				

【施策評価】

本市の交通基盤にとって南北交通の軸となるモノレール延伸計画が、長年の凍結状態を脱し、大阪府戦略本部会議において一定の進歩が見られたことは評価できる。

【今後の施策の進め方】

周辺のまちづくりについて調査・研究を行い、大阪モノレール南伸の実現に向けて大阪府と費用負担等について協議を進めていきます。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況の評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
①

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	経営企画部
部局長名	甲田 博彦

行財政編 効率的で健全な行財政運営が行われるまち

【基本方針】

地方自治体の基本的な役割である「住民の福祉の増進」を果たしていくためには、市の将来を見越し、社会経済情勢の変化などにも十分に対応ができる「強い自治体」となる必要があります。そのため、市民ニーズや社会情勢などに対応できる体制づくりや、職員の能力向上、財政基盤の強化、業務の電子化などを進めることにより、効率的かつ健全な行財政運営が行われるまちにします。

【取り組みのあらまし】

- 1 将来を見越した行財政改革に取り組みます 5
- 2 これからの行政運営を担う人材を確保し、育成、活用します 6
- 3 歳入を確保し、市役所の財政力を向上させます 7
- 4 市役所の電子化を進め、市民の利便性や事務の効率を向上させます 8

指標	単位	実績値										目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 効率的で健全な行財政運営が進められていると思う市民の割合	%			22.2									UP
2													
3													

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 新集中改革プランの実行	C	A	未									○
2	1 大阪市隣接都市協議会	D	D										
3	3 外郭団体の見直しを計画的に推進	D	A	C									○
4	1 施設のあり方を見極め、多くの市民の活用促進	B	C										
5	4 公共施設再編整備事業			C									○
6	4 窓口サービスの向上	D	D	A									○
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	0	C	2	D	0				

【施策評価】

平成25年11月に「東大阪市公共施設マネジメント推進基本方針」を策定しました。今後、新たに公共施設を整備する際には、公共施設マネジメント推進基本方針の3つの基本方針①適正な維持管理による公共施設の長寿命化の実現、②社会情勢の変化を踏まえた公共施設の総量縮減、③民間との連携による効率的、持続可能な市民サービスの提供、を実施し、公共施設にかかるライフサイクルコストを縮減や、市有地の利活用を行っていく方針を定めました。

【今後の施策の進め方】

新集中改革プランや外郭団体統廃合等方針の計画を進めていく中で、目標に達していないものについては課題を整理し進展を図っていきます。また、「東大阪市公共施設マネジメント推進基本方針」で定めた3つの基本方針を実施し、今後の公共施設の整備を進めていきます。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	行政管理部
部局長名	土屋 宝土

第1部 第3節 男女が共に生き生きと暮らすまち

【基本方針】

男女が互いに個人としての尊厳を認め合い、性別にとらわれることなく個性や能力を発揮しながら、生き生きと暮らせるまちをつくります。
 そのため、性別による固定的な役割分担意識を無くし、男女が社会のあらゆる分野で対等に活躍するとともに、仕事と家庭を両立して暮らしていただけるよう、取り組みます。

【取り組みのあらまし】

1 男女が対等な関係を築く意識を育みます	5 だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めます
2 仕事と家庭が両立できる環境をつくります	6
3 男女が生き生きと活躍できる職場をつくります	7
4 男女が共にまちづくりを進めます	8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 男女が共に生き生きと暮らせるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			31.8										▲ UP
2 男女共同参画センターの団体登録数	団体	24	23	20										▲ 団体 40
3 審議会などの女性委員参画率	%	25.8	30.1	27.5										▲ % 40

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1	3 管理職への女性職員の登用	A	A	A										○
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	0	C	0	D	0					

【施策評価】

女性の管理職登用については順調に女性の割合を伸ばしている。

【今後の施策の進め方】

引き続き個々の能力と適性を十分に見極めながら、女性職員の積極的な登用を継続して行う。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	行政管理部
部局長名	土屋 宝土

行財政編 効率的で健全な行財政運営が行われるまち

【基本方針】

地方自治体の基本的な役割である「住民の福祉の増進」を果たしていくためには、市の将来を見越し、社会経済情勢の変化などにも十分に対応ができる「強い自治体」となることが必要です。そのため、市民ニーズや社会情勢などに対応できる体制づくりや、職員の能力向上、財政基盤の強化、業務の電子化などを進めることにより、効率的かつ健全な行財政運営が行われるまちにします。

【取り組みのあらまし】

- 1 将来を見越した行財政改革に取り組みます 5
- 2 これからの行政運営を担う人材を確保し、育成、活用します 6
- 3 歳入を確保し、市役所の財政力を向上させます 7
- 4 市役所の電子化を進め、市民の利便性や事務の効率を向上させます 8

指標	単位	実績値										目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 効率的で健全な行財政運営が進められていると思う市民の割合	%			22.2									UP
2													
3													

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 市内在住職員奨励事業	A	B	B									○
2	3 職員研修事業	A	A	A									○
3	2 職員パワーアップ人事政策の推進	D	D										
4	1 職員パワーアップ人事政策の推進(昇任試験など)	A	A	C									○
5	1 管理職への女性職員の登用	A	A	A									○
6	2 任期の定めのない短時間勤務制度の推進	A	A	A									○
7	2 職員採用試験の実施(民間経験者)	D	A	A									○
8	4 オンライン申請システム	D	D										
9	3 情報システム最適化	B	A	C									
10	4 情報セキュリティ対策	D	D	B									
平成25年度目標達成度別事業数		A	4	B	2	C	2	D	0				

【施策評価】

職員研修については、職員の意識、能力を向上させることを目標とし、研修受講者のうち今後の行動や考えが見えてきた人の割合(意識変化率)を指標とした結果、平成25年度は94%という実績であった。

職員の昇任試験については、主任昇任前研修及び効果測定の実施、また総括主幹昇任時面接の実施など一定の進捗があり、女性の管理職登用についても順調に割合を伸ばしている。また、民間企業等経験者の採用については平成24年度に引き続き、平成25年度も定期採用試験で上級事務の試験を行い、多様な経験と知識を有する人材の確保に努めた。市内在住職員奨励事業は今後も有効な手法を検討する必要がある。

情報施策に関しては、システム開発において、既存システムベンダーとの協議だけではなく他社への情報提供依頼(RFI)を行い、競争性が確保できる仕様作成を進めコスト削減に努めている。情報セキュリティについては、事故件数が減少しており、職員の意識(モラル)が少しずつ向上していると認識している。

【今後の施策の進め方】

今後も市民ニーズや社会経済情勢の変化に対応できる人材育成をめざし、職員研修を行っていく。

また、任期の定めのない短時間勤務制度の推進については、今後も国の動向に注視しながら法制化を求めるとともに、人事施策についても職員の能力がより有効に活用できるように努める。

情報施策に関しては、業務・システム最適化計画を推進して行く中で、社会保障・税に関わる番号制度(マイナンバー)に係る必要な機能を意識し、効率・効果的なシステム導入を進めていく。また、情報セキュリティについては、第三者によるセキュリティ外部監査を継続して実施するとともに、職員個人がセキュリティチェックシート等を活用し自己点検できるような仕組みづくりを確立していく。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	財務部
部局長名	今井 兼之

第1部 第5節 開かれた市役所のあるまち

【基本方針】

市民には「知る権利」が、市役所には「説明責任」があります。市民が主体となったまちづくりの実現のためには、開かれた透明性の高い市役所であることが重要です。そのため、個人情報の保護には十分配慮した上で、積極的に情報を受発信するとともに、市民と市役所が互いの立場を尊重した、対話と参加の機会を設けます。また、市役所業務は常に説明責任を伴い、職員一人ひとりが市役所の広報広聴を担うという認識を持ち、より一層身近で市民に開かれた市役所をめざします。

【取り組みのあらまし】

- 1 市民の声に基づいて市政を進めます 5
- 2 市政にかかわる情報を分かりやすく発信します 6
- 3 市役所が取り扱う市民の個人情報を守ります 7
- 4 8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 市役所は市民の意見を広く聴き、情報公開が進んでいると思う市民の割合	%			28.1										UP
2 市ホームページのアクセス件数	件	136万	140万	133万										件 250万 UP
3 市職員の情報セキュリティポリシー研修受講者数	人	551	1,183	916										UP

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1	2 財政情報の公表			B										○
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
平成25年度目標達成度別事業数		A	0	B	1	C	0	D	0					

【施策評価】

総務省方式改訂モデルによる財務書類4表については、作成・公表済み。

【今後の施策の進め方】

他市の状況及び国の動向を注視しつつ、財務書類の精度向上に向け調査・検討を行う。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	財務部
部局長名	今井 兼之

第5部 第27節 危機や災害への備えが万全なまち

【基本方針】

危機や災害は突然やってくる。いざという時に市民の生命や体、財産を守り、被害を最小限にとどめ、早期の復旧を行うため、また、避難生活を少しでも安定して過ごせるよう、日ごろからの備えが万全なまちにします。

そのため、さまざまな事態を想定した危機管理体制を整備します。また、市民の自主的な活動を支援することで地域の安全を守るようにします。

さらに、消防力の強化、防災拠点の整備、都市基盤の整備や耐震化などにより、災害に強い住まいとまちづくりを進めます。

【取り組みのあらまし】

1 危機管理体制を整えて、いざという時に備えます	5 水害や土砂災害からまちを守ります
2 地域における防災・防火・防犯に向けて取り組みます	6 国民保護体制を整えて、万一来襲に備えます
3 消防力を強化し、市民生活を守ります	7
4 都市基盤の耐震化、避難所整備を進めます	8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 危機や災害への備えが万全なまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			30.5									UP
2 雨水増補管の整備率	%	77	79.7	80.0									% 92.0
3 市庁舎、保健所などの市の防災関連建築物の耐震化率	%	88.1	88.3	89.0									% 100

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	5 土砂災害防止対策事業	C	D	A									○
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	0	C	0	D	0				

【施策評価】

平成24年度は実施（完了）が遅れていたが、現状にあった工事工法等の見直しを実施したことにより経費の低減を図り、平成25年度分については実施済み。

【今後の施策の進め方】

現在、3箇所対応済。

残る3箇所についても費用対効果やあらゆる面から改めて検討が必要。また、市として、全体の利用計画を早急に策定する必要がある。

以上の□枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
①

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	財務部
部局長名	今井 兼之

行財政編 効率的で健全な行財政運営が行われるまち

【基本方針】

地方自治体の基本的な役割である「住民の福祉の増進」を果たしていくためには、市の将来を見越し、社会経済情勢の変化などにも十分に対応ができる「強い自治体」となる必要があります。そのため、市民ニーズや社会情勢などに対応できる体制づくりや、職員の能力向上、財政基盤の強化、業務の電子化などを進めることにより、効率的かつ健全な行財政運営が行われるまちにします。

【取り組みのあらまし】

- 1 将来を見越した行財政改革に取り組みます 5
- 2 これからの行政運営を担う人材を確保し、育成、活用します 6
- 3 歳入を確保し、市役所の財政力を向上させます 7
- 4 市役所の電子化を進め、市民の利便性や事務の効率を向上させます 8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 効率的で健全な行財政運営が進められていると思う市民の割合	%			22.2										UP
2														
3														

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト		
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1	1 土地開発公社先行取得用地再取得事業	A	B											
2	1 市内企業・業者への優先発注推進			A										○
3	3 市有地有効活用事業	B	B	A										
4	3 電子入札システムの運用	A	A	A										○
5	3 公有財産管理システムの構築			A										○
6														
7														
8														
9														
平成25年度目標達成度別事業数		A	4	B	0	C	0	D	0					

【施策評価】

市内企業・業者への優先発注推進については、指名競争入札案件及び見積合せ案件において原則市内に本店または支店のある業者を優先的に指名しました。また、庁内組織においても市内業者優先発注について協力を依頼しています。電子入札については平成19年度の導入以来、順次対象を拡大し、平成25年度は目標の70%に対し、全入札案件の80%となりました。

市有地については、土地開発公社を解散し、長年の懸案事項であった先行取得用地の長期保有について、課題解決に向けた段階を進めました。公有財産管理システムについては登録内容の精査を行い、運用開始いたしました。

【今後の施策の進め方】

市内企業・業者への優先発注推進については、市内企業・業者を中心に競争入札を実施するとともに、大規模工事についても、東大阪市内での下請け要件を設定するなど、市内企業・業者にとって受注しやすい発注手法を検討してまいります。

電子入札については、原局との調整や業者からの質疑応答等により一定以上の時間を要するという課題があり、今後についても短期間で業者決定が可能な指名競争入札等の他の手法とのより良い併用について検討してまいります。

市有地有効活用事業については、土地開発公社から市へ帰属した先行取得用地のうち、市で使用しない用地について、早期の売却等を図ります。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
①

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	人権文化部
部局長名	岸上 澄

第1部 第2節 人権を尊重するまち

【基本方針】

人権は、すべての人が生まれながらに持っている、最も基本的な権利であり、人権を尊重した、いかなる差別もない豊かで明るいまちをつくりたい。

そのため、市民や事業者、教育関係者、関係機関、市役所などが連携、協力し、同和問題や、外国籍住民、障害のある人、子ども、高齢者、女性などの人権問題の解決に向け、横断的な取り組みを進めます。

【取り組みのあらまし】

- 1 あらゆる施策に人権尊重の視点を取り入れます 5
- 2 効果的な人権啓発・人権教育を進めます 6
- 3 情報・相談機能を充実させます 7
- 4 8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 人権を尊重したまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			29.9										UP
2 人権講座の延べ参加者数	人	1,012	632	1,087										人 1,000 UP
3 市職員の人権研修受講者数	人	979	1,130	1,001										UP

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	2 人権啓発促進事業	A	A	B									
2	2 共同浴場改修事業	B	C										
3	2 人権文化センター人権啓発事業	A	B	B									
4	3 人権文化センター総合相談事業	B	B	B									
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	0	B	3	C	0	D	0				

【施策評価】

これまでの各事業ごとのアンケート結果を基に事業の内容を検討し、市民ニーズを踏まえた講師選定を行った。市民の要望を取り入れながら実施することで人権問題に関心を持つきっかけづくりができた。また、部落（同和）問題等と呼ばれている差別問題があることが高い割合で認知されている中、まちづくりを基本理念に掲げ人権教育・人権啓発活動等に取り組んできた成果として、文化、教育、生活環境、生活福祉、保健衛生、環境改善等の向上がみられている。

さらに、本市では啓発活動等の取り組みが効果をあげている。国の地対財特法失効から国、府の同和対策審議会答申の趣旨に基づき一般施策としての活用が図られてきたことにより、同和問題解決に向けた取り組みとして施策構築の成果がみられ、市民が自主的に参加する講座、研修会、イベントの開催や啓発等公共施設の有効利用がみられる。

【今後の施策の進め方】

市民が人権問題を自らの問題としてとらえ、より多くの市民が人権問題への理解を深めることができるよう、参加しやすく、市民ニーズにあった効果的な啓発に努めるとともに、市民や事業者、教育関係者、関係機関などが連携して人権に関する取り組みが進められるよう、場所や機会の提供を行っていく。

また、同和問題をはじめとする人権問題の理解を深め早期解決を図るため、人権教育や人権啓発活動等に取り組む人権施策の推進を図っているが、未だ偏見や差別落書き・インターネットでの差別事象などが発生している。人権尊重のまちづくりの実現に向けた効率的、効果的な一般施策としての人権施策が必要である。

人権施策は福祉、教育、産業、環境等多岐の分野にわたるため、施策の体系化を要す。住民の日常生活上の様々な課題解決のための相談事業により自立支援等を実施している。

これらを踏まえ、本市においても引き続き啓発の内容や手法について創意工夫を図り、総合的な検討等により積極的に施策を推進する。

以上の□□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	人権文化部
部局長名	岸上 澄

第1部 第3節 男女が共に生き生きと暮らすまち

【基本方針】

男女が互いに個人としての尊厳を認め合い、性別にとらわれることなく個性や能力を発揮しながら、生き生きと暮らせるまちをつくります。
 そのため、性別による固定的な役割分担意識を無くし、男女が社会のあらゆる分野で対等に活躍するとともに、仕事と家庭を両立して暮らしていただけるよう、取り組みます。

【取り組みのあらまし】

1 男女が対等な関係を築く意識を育みます	5 だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めます
2 仕事と家庭が両立できる環境をつくります	6
3 男女が生き生きと活躍できる職場をつくります	7
4 男女が共にまちづくりを進めます	8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 男女が共に生き生きと暮らせるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			31.8										UP
2 男女共同参画センターの団体登録数	団体	24	23	20										団体 40
3 審議会などの女性委員参画率	%	25.8	30.1	27.5										% 40

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1	1 男女共同参画推進事業	B	B	A										○
2	1 男女共同参画センター自主事業	A	A	A										○
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
平成25年度目標達成度別事業数		A	2	B	0	C	0	D	0					

【施策評価】

審議会等への女性の参画率については前年度を下回り、目標達成には至っていない。
 DV被害防止への取り組みとして、「女性に対する暴力をなくす運動のつどい」を開催したり、相談窓口を記載したDVカードを配布するなどした。また、民間シェルター等に対する支援事業を実施した。

【今後の施策の進め方】

審議会等への女性委員の参画について、引き続き各所管課に働きかける。
 DV被害防止の取り組み強化をはじめ、男女共同参画センター・イコーラムの事業を充実し、イコーラムを拠点として、男女の区別なく幅広い年代の市民に対し、男女共同参画社会実現のための様々な施策を展開する。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	人権文化部
部局長名	岸上 澄

第1部 第4節 平和の大切さを伝えるまち

【基本方針】

平和は人間として生きるための基本であり、全世界の共通の願いです。市民一人ひとりが平和の大切さを実感し、平和を築き、後世に伝えていくまちをつくります。
 そのため、平和への意識を高め、非核平和の重要性を認識できるよう、平和についての啓発や平和学習に取り組みます。

【取り組みのあらまし】

- 1 市民の平和意識を高めます 5
- 2 子どもたちの平和学習を充実させます 6
- 3 平和の重要性と核兵器廃絶のメッセージを世界に発信します 7
- 4 8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 平和を意識したまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			34.6										UP
2 平和事業の参加者満足度	%	83.7	79.8	87.3										% 90
3 修学旅行で平和学習に取り組んでいる学校の割合	%	65	69	71										% 100

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 平和のまちづくりの推進	B	B	A									
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	0	C	0	D	0				

【施策評価】

児童・生徒等の参加が見込める夏休み期間に東大阪市平和のつどいを開催し、平和の重要性と命の尊さを訴えた。日本非核宣言自治体協議会の活動に参加し、平和を脅かす核兵器の廃絶を訴えた。

【今後の施策の進め方】

戦争体験者の高齢化が進み、戦争の悲惨さを身をもって知る方々の声を聞く機会の減少が懸念される。市民に関心を向けてもらうような平和事業を計画し、平和の尊さを次代に語り継ぐために、若い世代に対しアピールを行っていく。また体験談の伝承や日本非核宣言自治体協議会、関係機関等との連携、情報交換を密に行っていく。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	人権文化部
部局長名	岸上 澄

第2部 第6節 文化に親しめるまち

【基本方針】

文化は心を豊かにし、生きがいを与えてくれます。長い歴史によって地域で育まれてきた、地域の特色を生かした文化に親しみ、大切に思う心を育みます。

そのため、あらゆる活動に文化の視点を取り入れるとともに、個性あふれる豊かな文化を発掘します。また、文化的な資源、情報を発信します。さらに、文化やその担い手を育み、市民が自ら文化活動に取り組める環境や、身近に文化に親しむ機会を提供します。

【取り組みのあらまし】

- 1 あらゆる施策に文化の視点を取り入れます 5
- 2 魅力ある文化情報を把握し、発信します 6
- 3 文化施設を有効に活用します 7
- 4 文化に親しむ機会を提供します 8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 文化に親しめるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			35.7									UP
2 文化関連施策の実施件数	件	97	81	82									120
3 文化施設の延べ利用者数	人	333,877	325,396	312,096									500,000

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 文化推進事業	B	C	C									○
2	3 市民美術センター自主事業	B	B										
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	0	B	0	C	1	D	0				

【施策評価】

本市の文化政策の基本方針でもある「東大阪市文化政策ビジョン」に基づいた文化政策の評価指標の具体的な策定に向け、東大阪市文化芸術審議会にて議論を重ね、各部局に対しては当ビジョンに基づく施策調査を通じ、文化的な視点を持って施策を実施するよう働きかけた。また、本市の文化拠点である司馬遼太郎記念館をはじめとした、地域の文化的資源を市内外に効果的にPRし「文化のまち」の魅力を発信することにより、既存の文化資源を継続して市民にアピールできた。

また、市民美術センターの特別展等を通じて、市民が身近に文化芸術に親しむ機会を定期的に設けており、入場者の満足度からも一定の成果が得られている。

【今後の施策の進め方】

引き続き、本市の文化政策の基本方針である「東大阪市文化政策ビジョン」に基づき文化政策を推進するとともに、本市の文化拠点である司馬遼太郎記念館をはじめとした、地域の文化的資源を市内外に効果的にPRし「文化のまち」の魅力を発信していく。さらに、新たな文化的資源の掘り起こしも図っていく。

また、市民が文化活動に取り組める環境整備や文化に親しめる機会を提供するために、美術センター等の文化施設利用を積極的に呼びかけ、市民にとって親しみのある憩いの場となるよう努める。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか				施策実現状況の評価
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない	②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	人権文化部
部局長名	岸上 澄

第2部 第7節 歴史や伝統を大切にすまち

【基本方針】

歴史遺産や伝統はいったん失うと元には戻らない貴重な財産であることから、市や地域の、歴史や伝統を大切にすまちをつくります。

そのため、郷土の歴史遺産の調査、研究や、その保存と活用に努め、身近な歴史や伝統の啓発を行い、市民と共に文化財保護を進めます。また、古文書などの歴史資料を調査、整理ならびに保存、活用するとともに、古代から現代までを対象とした市史の編さんに努めます。

【取り組みのあらまし】

- 1 市民と共に文化財保護を進めます 5
- 2 歴史・文化を感じられるまちづくりを進めます 6
- 3 文化財の普及啓発を進めます 7
- 4 市史の編さん、活用を進めます 8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 歴史や伝統を大切にすまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			41.2										UP
2 一般公開している文化財施設の入館者数	人	30,340	27,932	27,408										人 30,000
3 文化財ボランティアの延べ活動者数	人	909	1,042	1,050										人 1,500

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	4 市史編さん事業	B	B	A									
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	0	C	0	D	0				

【施策評価】

マイクロフィルム撮影にあたっては、前準備として専門調査員による史料のカード記録を行っており、記録の正確性と取扱いの慎重性を期すことに留意しながらの作業であるが、平成25年度は効率的・効果的に作業が進んだので目標を達成した。

【今後の施策の進め方】

未整理分も含めた史料の整理を引き続き行うとともに、整理後の市史編さん事業の展望について、調査・検討していく必要がある。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	人権文化部
部局長名	岸上 澄

第2部 第8節 **多くの国・地域や人の交流が育まれるまち**

【基本方針】

国籍や民族の異なる人々が、互いの考え方や文化、習慣の違いを認め合い、すべての人が自分らしく生き、交流が育まれるまちであることが大切です。
 そのため、多言語で必要な情報を入手できるようにするとともに、異なる文化を持つ市民が理解し合うための機会をつくります。さらに、まちのよさを生かした交流を進めるため、まちの魅力的な情報を提供し、広く内外の人にもそのよさを伝えることで、訪れたいまちをめざします。

【取り組みのあらまし】

1 外国籍住民を支援し、社会参加を進めます	5 東大阪市の魅力をつくり、発掘し、発信します
2 市民に多文化共生の大切さを伝えます	6
3 諸外国との交流、協力を進めます	7
4 交流の機会や場所を増やします	8

指 標	単 位	実 績 値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 多くの国・地域や人の交流が盛んだと思う市民の割合	%			26.8										UP
2 国際情報プラザの多言語相談件数	件	1,145	1,319	1,022										件 960
3 国際交流や多文化理解に関するイベントの延べ参加者数	人	24,135	23,763	25,011										人 28,000

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo. 及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政 マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 国際情報プラザ事業	A	A	B									
2	2 国際化推進事業	B	B	B									
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	0	B	2	C	0	D	0				

【施策評価】

国際情報プラザにて、国際関連情報や生活関連情報、行政情報の提供、通訳などを行うことで、国籍や民族の異なる人々が行政サービスへアクセスできる道筋ができていくほか、暮らしに必要な情報を多言語で入手する機会を提供でき、一定の成果が挙げられている。また、定期的に研修会や講座を開催することで、語学ボランティア登録者の資質が向上し、「多文化共生社会」の市民意識の啓発にもつながった。

さらに、市民や団体などが行う多文化共生事業を支援することで、異なる文化を持つ市民が理解しあえる交流の機会や場所を提供することができ、本市のめざすまちづくりに貢献している。

【今後の施策の進め方】

語学ボランティアの登録者数のさらなる増加やレベルアップにより、対応可能言語・分野の拡大に努める。

また、多文化共生事業を支援する際には、より広く、より多くの市民が国際交流や多文化理解ができるよう、事業参加者の増加を図るとともに新たな社会情勢の変化等に対応した事業展開を働きかける。

さらに、市内大学との連携も視野に入れながら、多文化理解講座をはじめとする国際情報プラザ事業を展開し、異なる文化を持つ市民が理解し合うための機会を提供し、「多文化共生」の市民意識の啓発をより一層進めていく。

以上の 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	協働のまちづくり部
部局長名	中尾 悟

第1部 第1節 市民が主体的に活躍するまち

【基本方針】

市民だれもが自分たちのまちに誇りと愛着を持てるよう、自分たちのできることを生かして、責任を持って主体的にまちづくりを進め、楽しさや達成感、連帯感を味わえる環境をつくります。そのため、地域の特徴を生かすことや、市民によるまちづくり活動の自立を促すこと、活動への理解を深めること、活動の担い手となる人材や団体などを育てることなどに取り組みます。

これらの取り組みを行うに当たっては、市民と市役所が対等な関係で、互いを尊重し合い、目的と課題を共有し、協力して活動することによって、活力あるまちづくりを行う、公民協働を基本にします。

【取り組みのあらまし】

- 1 地域の特性を生かしたまちづくりを進めます 5
- 2 市民によるまちづくりを応援します 6
- 3 市民のまちづくりへの理解を深めます 7
- 4 まちづくりの担い手づくりを進めます 8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 市民が主体となったまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			25.0									UP
2 社会福祉協議会のボランティアグループ登録数	グループ	145	147	153									グループ 136
3 まちづくり活動助成団体数(累計)	団体	123	142	155									団体 150

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
1	1 リージョンセンター施設改修事業	A	A									
2	1 リージョンセンター公民協働事業	B	B	B								
3	1 市民協働による地域別計画の推進			A								○
4	1 (仮称)地域まちづくり協議会の設置			A								○
5	1 地域担当職員の配置			A								○
6	2 自治会集会所整備補助事業	B	B	B								
7	2 地域まちづくり活動助成事業	B	A	B								
8	2 NPO等活動基盤強化事業			B								
9	3 市民活動情報サイト運営事業	C	C	C								○
10	4 まちづくりコーディネーター育成事業	A	A	B								○
平成25年度目標達成度別事業数		A	3	B	5	C	1	D	0			

【施策評価】

平成25年度は、地域の市民活動団体等の課題解決に向けた助言や、行政との橋渡し役をする職員として「地域サポート職員」を新たに設置。再任用職員及び地域雇用の非常勤嘱託職員を、2人1組で地域別計画地域ごとに配置した。また、東大阪市版地域分権に向けた第一歩の取組みとして「まちづくり意見交換会」をスタートさせ、地域住民の「自分たちのまちは自分たちでつくる」といった自治意識の醸成に取り組んだ。

市民活動を担う団体・個人に対する支援については、市民活動情報サイトの運営や、まちづくりコーディネーター育成事業の実施により、スキルの向上や交流を促進することができた。市民活動情報サイトへの登録団体数については、目標数に達せず、さらなるPRが必要である。

地域活動の拠点施設であるリージョンセンターの改修及び自治会集会所の整備については、整備を進めることによりその利便性が向上し、利用者数の増加など地域活動の活性化に繋がった

【今後の施策の進め方】

まちづくり意見交換会から生まれた活動のサポート強化と、地域訪問などをさらに充実させるために、地域雇用の非常勤嘱託職員を7人増員する。

また、まちづくり意見交換会、まちづくりコーディネーター育成事業を継続して開催するとともに、市民活動情報サイトの登録団体の増加に努め、市民活動を担う団体・個人との意見交換、連携に努める。

地域の拠点施設であるリージョンセンター及び自治会集会所の整備についても、引き続き取り組む。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか				施策実現状況の評価
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない	
				②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	協働のまちづくり部
部局長名	中尾 悟

第5部 第27節 危機や災害への備えが万全なまち

【基本方針】

危機や災害は突然やって来ます。いざという時に市民の生命や体、財産を守り、被害を最小限にとどめ、早期の復旧を行うため、また、避難生活を少しでも安定して過ごせるよう、日ごろからの備えが万全なまちにします。

そのため、さまざまな事態を想定した危機管理体制を整備します。また、市民の自主的な活動を支援することで地域の安全を守るようにします。

さらに、消防力の強化、防災拠点の整備、都市基盤の整備や耐震化などにより、災害に強い住まいとまちづくりを進めます。

【取り組みのあらまし】

1 危機管理体制を整えて、いざという時に備えます	5 水害や土砂災害からまちを守ります
2 地域における防災・防火・防犯に向けて取り組みます	6 国民保護体制を整えて、万一に備えます
3 消防力を強化し、市民生活を守ります	7
4 都市基盤の耐震化、避難所整備を進めます	8

指標	単位	実績値										目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 危機や災害への備えが万全なまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			30.5									UP
2 雨水増補管の整備率	%	77.0	79.7	80.0									% 92.0
3 市庁舎、保健所などの市の防災関連建築物の耐震化率	%	88.1	88.3	89.0									% 100

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	2 防犯灯設置費補助事業	A	A	C									○
2	2 防犯灯維持管理費補助事業	A	A										○
3	2 防犯カメラ設置費補助事業			A									○
4	2 街頭犯罪防止啓発事業			A									○
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	2	B	0	C	1	D	0				

【施策評価】

地域における防犯対策として、夜間暗い道路などに自治会が設置する防犯灯の設置費用に対して補助を行うことで、まちを明るくし、ひったくりなどの街頭犯罪の発生抑止に寄与している。しかしながら、平成25年度の夜間ひったくり発生件数は目標に掲げた数値より増加してしまった。

【今後の施策の進め方】

防犯灯設置費補助事業について、予算の増額を図り、防犯灯の灯数を増やし、夜間におけるひったくりなどの街頭犯罪発生へのさらなる抑止に努めていく。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況の評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	市民生活部
部局長名	中西 泰二

第3部 第13節 健康で元気に暮らせるまち

【基本方針】

市民一人ひとりが、心も体も健康で生きがいを持って人生を送れるよう、健康で元気に暮らせるまちをつくります。

そのため、運動習慣や食生活の改善など規則正しい生活習慣を確立し、健康診査 やがん検診の受診など健康管理に対する意識を高め、生活習慣病の予防を進めます。また、地域保健対策や健康危機管理の拠点として保健所などの組織体制を確保し、感染症の予防と拡大防止や、心と体の健康づくりに取り組みます。

【取り組みのあらまし】

1 地域保健対策、健康危機管理対策を総合的に進めます	5 特定疾患や呼吸器系疾患対策などを充実させます
2 健康づくりや食育 に取り組む市民を増やします	6 心の健康づくりに取り組みます
3 疾病などの予防や早期発見に努めます	7
4 感染症の予防と拡大防止に努めます	8

指 標	単 位	実 績 値											目 標 値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 心も体も健康で元気に過ごせるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			31.5										UP
2 市民の平均寿命（男性・女性）	歳		79.0・ 85.9	79.0・ 85.9										UP
3 胃がん検診の受診率	%	11.1	10.2	10.2										% 15.0

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo. 及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政 マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1	3 医療費適正化事業	D	D	C										
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
平成25年度目標達成度別事業数		A	0	B	0	C	1	D	0					

【施策評価】

効果的な啓発グッズの配布を実施、従来の啓発に加え受診率の低い若年層（就労年齢）の受診勧奨（電話・ハガキ等）を実施、休日集団健診を前年度より増やし、計2回実施。全戸回覧で健診制度の周知を図る際、裏面に近隣の医療機関を掲載。

【今後の施策の進め方】

休日に実施する集団健診の拡大実施や、健診制度の周知徹底の方法を検討していく。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	市民生活部
部局長名	中西 泰二

第3部 第17節 安心して子どもを生み、育てられるまち

【基本方針】

子どもを慈しむとともにいとしく思い、子育てを喜び、子どもの健やかな成長を願う気持ちは、だれもが持っています。安心して出産、子育てができる環境づくりによって、子どもを育てる喜びが実感でき、すべての子どもの健やかな成長と、子どもの権利が尊重され、子どもの生きる力や夢を育むことができるまちをめざします。

【取り組みのあらまし】

1 地域全体で子育てを見守ります	5 すべての人が生活しやすい環境を整備します
2 子どもと親の健やかな心と体づくりを進めます	6 質の高い福祉サービスを利用できるようにします
3 だれもが安心できる育児環境を整備します	7
4 一人親家庭の子育てを応援します	8

指 標	単 位	実 績 値											目 標 値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 安心して子どもを生み、育てることができるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			31.3									UP
2 子育て支援事業の延べ利用者数	人	151,363	153,091	205,064									人 130,000
3 保育所の入所待機児童数	人	192	214	230									人 0

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	2 子ども医療費助成制度	A	A	A									○
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	0	C	0	D	0				

【施策評価】

子どもが必要とする医療を容易に受診できるよう医療費の自己負担額の一部を助成することにより、子育てにかかる経済的負担の軽減を図り、安心して出産・子育てができる環境づくりに効果をあげているものと思われる。

また、医療が受けやすい環境を作ることによって、子どもの健やかな成長および子どもの権利が尊重されるまちづくりの一部を担っていると評価するもの。

【今後の施策の進め方】

持続可能な制度となるよう、財源確保に努めながら、国や大阪府に対しても引き続き要望していく。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	市民生活部
部局長名	中西 泰二

第4部 第26節 消費者が守られるまち

【基本方針】

安全で安心な消費生活ができるよう、消費者が守られるまちをつくります。そのため、消費生活センターが地域の中核的な役割を担うとともに、消費者が意識を高め、自ら行動できるよう取り組みます。また、消費者が安定的に安心して生活物資を購入できるよう努めます。

【取り組みのあらまし】

- 1 安全で安心な消費生活ができるようにします 5
- 2 消費者の自立を支援します 6
- 3 環境にやさしい運動を進めます 7
- 4 生活関連物資を安定して適性に供給できるようにします 8

指標	単位	実績値										目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 消費者が守られるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			27.5									UP
2 商品量目立入検査で適正であった商品の割合	%	100	98.3	100									UP
3 消費生活に関する相談のあっせん解決率	%	91.8	91.3	93.7									% 100

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 多重債務者対策庁内連絡会	A	A										
2	1 消費生活相談事業	B	B	B									
3	1 多重債務者対策事業	D	D	D								○	
4	1 地方消費者行政活性化基金事業	A	D										
5	2 消費生活啓発事業	A	A	A									
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	1	C	0	D	1				

【施策評価】

消費生活センターが地域の中核的な役割を担い、消費生活相談事業や消費者被害の未然防止を図るための各種啓発に取り組むことができた。関係機関等とも連携を図りながら、総合庁舎や市外部施設などへの啓発グッズの配備や啓発ポスターの掲示など新たな啓発事業を実施した。また、消費者の自立を支援するため、消費者学習の場の提供や「暮らしのスクラム」の全戸回覧を引き続き行うなど、概ね目標どおり施策を展開し、消費者が安全で安心な消費生活ができる、消費者が守られるまちづくりに貢献することができた。

【今後の施策の進め方】

幅広い世代の消費者に更なる啓発を行っていくとともに消費生活センターの周知を行い、消費者被害の未然防止と消費生活相談などの利用促進を図る。
多重債務者無料法律相談については、25年度は稼働率が再び減少したため、引き続き相談窓口の周知、啓発に取り組むとともに、関係各課との連携に努めながら、今後の業務のあり方について、引き続き検討を行っていく。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
①	②	③	④
とても そう思う	そう思う	そう思わない	まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	市民生活部
部局長名	中西 泰二

行財政編 効率的で健全な行財政運営が行われるまち

【基本方針】

地方自治体の基本的な役割である「住民の福祉の増進」を果たしていくためには、市の将来を見越し、社会経済情勢の変化などにも十分に対応ができる「強い自治体」となることが必要です。

そのため、市民ニーズや社会情勢などに対応できる体制づくりや、職員の能力向上、財政基盤の強化、業務の電子化などを進めることにより、効率的かつ健全な行財政運営が行われるまちにします。

【取り組みのあらまし】

- 1 将来を見越した行財政改革に取り組みます 5
- 2 これからの行政運営を担う人材を確保し、育成、活用します 6
- 3 歳入を確保し、市役所の財政力を向上させます 7
- 4 市役所の電子化を進め、市民の利便性や事務の効率を向上させます 8

指 標	単 位	実 績 値										目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 効率的で健全な行財政運営が進められていると思う市民の割合	%			22.2									UP
2													
3													

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo. 及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政 マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 保険料収納率向上事業	B	B	B									○
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	0	B	1	C	0	D	0				

【施策評価】

財産調査及び滞納処分を積極的に行い、収納率の向上（81.70%→85.41%※H26.3末見込み）に繋がった。コールセンターによる現年未納世帯への督促・徴収嘱託による長期及び高額滞納世帯への訪問・催告文書等による督促を行い、滞納世帯の健全な保険料収納管理を図った。

【今後の施策の進め方】

夜間、休日の納付相談窓口を引き続き開設するとともに、コールセンター、徴収嘱託員等による勧奨や広報紙等により口座振替を一層推進する。また、財産調査や滞納処分を積極的実施するとともに、履行管理を徹底し、初期滞納者への早期督促を図り、さらなる収納率の向上に努める。

以上の 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	税務部
部局長名	西岡 義秀

行財政編 効率的で健全な行財政運営が行われるまち

【基本方針】

地方自治体の基本的な役割である「住民の福祉の増進」を果たしていくためには、市の将来を見越し、社会経済情勢の変化などにも十分に対応ができる「強い自治体」となることが必要です。そのため、市民ニーズや社会情勢などに対応できる体制づくりや、職員の能力向上、財政基盤の強化、業務の電子化などを進めることにより、効率的かつ健全な行財政運営が行われるまちにします。

【取り組みのあらまし】

- 1 将来を見越した行財政改革に取り組みます 5
- 2 これからの行政運営を担う人材を確保し、育成、活用します 6
- 3 歳入を確保し、市役所の財政力を向上させます 7
- 4 市役所の電子化を進め、市民の利便性や事務の効率を向上させます 8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 効率的で健全な行財政運営が進められていると思う市民の割合	%			22.2										▲ UP
2														
3														

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 市税収入率向上事業	A	A	A									○
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	0	C	0	D	0				

【施策評価】

平成25年度以降の目標として定めた市税収入率92.8%は、前年度から引き続き施策を推し進めたことにより実現し、決算見込数値で94.9%となる見通しである。コンビニ収納を拡充し納税環境を整備しながら、電話督促と夜間・休日を含む窓口折衝の地道な業務を基本に、税の公平性を旨としながら、財産調査から差押え及び公売といった手続きを積極的に進めた努力が、直接的には滞納繰越分を解消し、ひいては現年課税分の新たな滞納発生を抑えることとなり、この成果につながったものと考えている。

【今後の施策の進め方】

滞納繰越分の解消が進むにつれて、施策の中心が現年課税分未納の早期解消と納期内納付率の向上へシフトしていくこととなるが、滞納整理にかかる財産調査など専門的手法の継承についても留意し、新任職員の教育に注力しながら組織力を保つことが必要である。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
①

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	経済部
部局長名	大林 武夫

第2部 第8節 多くの国・地域や人の交流が育まれるまち

【基本方針】

国籍や民族の異なる人々が、互いの考え方や文化、習慣の違いを認め合い、すべての人が自分らしく生き、交流が育まれるまちであることが大切です。
 そのため、多言語で必要な情報を入手できるようにするとともに、異なる文化を持つ市民が理解し合うための機会をつくります。さらに、まちのよさを生かした交流を進めるため、まちの魅力的な情報を提供し、広く内外の人にもそのよさを伝えることで、訪れたいまちをめざします。

【取り組みのあらまし】

1 外国籍住民を支援し、社会参加を進めます	5 東大阪市の魅力をつくり、発掘し、発信します
2 市民に多文化共生の大切さを伝えます	6
3 諸外国との交流、協力を進めます	7
4 交流の機会や場所を増やします	8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 多くの国・地域や人の交流が盛んだと思う市民の割合	%			26.8										UP
2 国際情報プラザの多言語相談件数	人	1,145	1,319	1,022										人 960
3 国際交流や多文化理解に関するイベントの延べ参加者数	人	24,135	23,763	25,011										人 28,000

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1	5 観光振興事業	B	B	A										○
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	0	C	0	D	0					

【施策評価】

平成25年度については、刊行物の作成配布や情報発信に加え、各種観光団体との連携強化および新たな観光資源を探るきっかけづくりとして、大阪商業大学ビジネス・パイオニアコース中嶋ゼミによる「東大阪市の観光に関するプレゼンテーション意見交換会」を東大阪市役所内で実施し、観光資源の洗い出しと新規回遊コースの検討等を共同で実施した。
 また、東大阪観光協会と連携して協会が育成しているまちガイドボランティアを外部まち歩き団体の要望に合わせて派遣した。

【今後の施策の進め方】

東大阪観光協会をはじめとした各種観光関係団体との連携を強化するとともに、大学との連携のもと他市の観光振興上の取り組みについても調査・研究を行い、東大阪の魅力等の一層の情報発信力強化を図っていく。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	経済部
部局長名	大林 武夫

第4部 第21節 **モノづくりが元気なまち**

【基本方針】

本市の工業が発展することは、市の発展のみならず、日本の製造業の発展にもつながっています。市内製造業の付加価値をさらに高め、次の世代に対しても優れた経営資源を継承できるようにするとともに、全国でも有数の企業集積の強みを生かした、モノづくりが元気なまちをつくります。

そのため、既存技術の改良だけではなく、新しい技術や製品の開発を積極的に支援するとともに、それらを担う人材の育成、確保や、市内製造品の販売促進、他都市や地域との交流を進めます。

【取り組みのあらまし】

- 1 モノづくり企業の高付加価値化を支援します 5
- 2 「モノづくりのまち東大阪」を次の世代に引き継ぎます 6
- 3 モノづくり企業の販路開拓を応援します 7
- 4 地域経済の連携、交流に取り組みます 8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 市内のモノづくり企業が元気だと思う市民の割合	%			50.2										UP
2 東大阪ブランド認定製品数	製品	129	135	137										UP
3 従業者一人当たりの粗付加価値額	万円	866	831	未										UP

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1	1 産業技術支援センター整備事業	A	A	A										○
2	1 環境ビジネス関連事業	A	A											
3	1 東大阪デザインプロジェクト事業	A	C	D										○
4	1 モノづくり研究活性化事業	D	D											
5	1 東大阪市製品化促進事業	D	C											
6	1 高付加価値化支援事業			C										
7	1 知的財産支援事業	D	D	D										○
8	2 産業技術支援センター整備事業(技術研修)	B	B											
9	2 次世代モノづくり啓発事業	A	A	B										○
10	3 東大阪市技術交流プラザ事業	B	B	A										
平成25年度目標達成度別事業数		A	4	B	2	C	1	D	2					

【施策評価】

各実施計画事業中、目標達成度A・Bの事業が66%と前年度比で僅かに劣るものの、基本方針は概ね計画通り進められていると考えられる。

【今後の施策の進め方】

引き続き「高付加価値化」「販路開拓支援」「人材育成支援」の3つの柱の施策を中心に、市内製造業の支援を継続する。また、他都市や地域との交流も積極的に進めていくことで、計画の実施を目指す。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	経済部
部局長名	大林 武夫

第4部 第21節 **モノづくりが元気なまち**

【基本方針】

本市の工業が発展することは、市の発展のみならず、日本の製造業の発展にもつながっています。市内製造業の付加価値をさらに高め、次の世代に対しても優れた経営資源を継承できるようにするとともに、全国でも有数の企業集積の強みを生かした、モノづくりが元気なまちをつくります。

そのため、既存技術の改良だけではなく、新しい技術や製品の開発を積極的に支援するとともに、それらを担う人材の育成、確保や、市内製造品の販売促進、他都市や地域との交流を進めます。

【取り組みのあらまし】

- 1 モノづくり企業の高付加価値化を支援します 5
- 2 「モノづくりのまち東大阪」を次の世代に引き継ぎます 6
- 3 モノづくり企業の販路開拓を応援します 7
- 4 地域経済の連携、交流に取り組みます 8

指標	単位	実績値										目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 市内のモノづくり企業が元気だと思う市民の割合	%			50.2									UP
2 東大阪ブランド認定製品数	製品	129	135	137									UP
3 従業者一人当たりの粗付加価値額	万円	866	831	未									UP

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	3 東大阪ブランド推進機構補助事業	B	B	B									○
2	3 海外販路拡大事業	A	A										
3	3 首都圏販路拡大事業	D	A										
4	3 モノづくり商談会開催事業	D											
5	3 国内外販路拡大事業			A									
6	4 都市間交流支援事業	B	A										
7	4 中小企業都市連絡協議会事業	A	A	A									
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A		B		C		D					

【施策評価】

【今後の施策の進め方】

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
/

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	経済部
部局長名	大林 武夫

第4部 第22節 買い物しやすいまち

【基本方針】

日々の買い物が身近でできる商店は、市民生活にとって無くてはならないものです。商店街を中心とした商業集積地域の魅力を高めることによって、市民が買い物しやすく、買い物に訪れたいくなる、にぎわいのあるまちをつくりたい。

そのため、商業集積地の魅力づくりに取り組むとともに、商店街に人が集まり、安心して快適に買い物ができるよう支援します。

【取り組みのあらまし】

- 1 特色ある商業集積地づくりを支援します 5
- 2 「元気な店舗グループ」の活動を支援します 6
- 3 地域資源の活用で集客力を強化します 7
- 4 安心して快適に買い物ができる環境づくりを進めます 8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 だれでも不自由なく買い物できるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			49.7									▲	UP
2 「元気な店舗グループ」支援の対象数	件	1	1	1									▲	件5
3 市内で買い物をした市民の割合(顧客流出比率)	%	74.7	74.7	74.7									▲	UP

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 地域密着型支援事業	B	D	C									○
2	1 商業振興コーディネート事業	A	A	A									○
3	1 空き店舗活用促進事業	C	C	A									○
4	1 商店街コンシェルジュ事業			A									○
5	1 高齢者にやさしい商店街づくり事業			C									○
6	2 元気グループ推進支援事業	A	A	C									
7	2 個店経営者育成セミナー事業	C	B	B									
8	3 地域資源活用・広域集客型支援事業	D	C										
9	4 共同施設設置助成事業	A	A	A									
平成25年度目標達成度別事業数		A	4	B	1	C	3	D	0				

【施策評価】

今年度の商業振興事業については、商業者のがんばりを基本に、やる気のある商業集積地を評価するとともに、それぞれの課題に応じた、かつ地域特性を活かした取組みを重点的に支援しております。商店街と地域ボランティアが連携した御用聞きや弁当の配達などの高齢者に優しい商店街づくり事業を支援しました。また、新たな取組みとして地域住民が商店街モニター(調査員)となって、モデル地区の商店街や個店をインターネットを活用して情報発信するなどの取組みを行いました。そのなかで、商店街の良い点や改善点などを話し合う場も用意し、商店街と地域住民が一体となって事業を展開するなど、今後の商業振興につながる事業となりました。

そして、商店街の防犯カメラやアーケード補修のような施設整備についても、国の補助金も活用しながら前年を上回る補助を行い、より快適な買い物環境の整備を支援しました。

【今後の施策の進め方】

平成26年度についても前年に引き続き、従来の単発のにぎわいイベントだけではなく、継続的な商店街の発展に資する活動に積極的に支援をしてまいります。特に商店街や小売市場が地域住民やボランティア団体、まちづくり団体と一体となって地域の課題に取り組む事を重点的に応援し、商業振興の推進と応援体制の強化を行います。

また、商店街や小売市場の施設整備についても引き続き、国の補助金施策と一体活用しながら、買い物環境の整備を支援いたします。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	経済部
部局長名	大林 武夫

第4部 第23節 農業と農地空間を大切にすま

【基本方針】

安全で安心できる農産物の提供や地産地消、食育を通じて、都市農業を身近に感じ、農業と農地空間を大切にすまをつくりま。

農業の持続と、都市の貴重な緑地である農地空間の保全のため、次世代の担い手を育成していくとともに、農業と農地空間の持つ公益的な役割をさらに発展、拡大しま。

【取り組みのあらまし】

1 安全で新鮮な農産物を消費者に届けま	5 有害鳥獣被害への対策を進めま
2 東大阪市の特産物を地域ブランドとして発信しま	6
3 農業と農地空間の担い手を育てま	7
4 農地空間の持つ価値や機能を生かしま	8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 農業と農地空間を大切にすまづくりが進められていると思う市民の割合	%			22.8									UP
2 農地面積	ha	242	242	239									ha 258
3 大阪府が認定したエコ農業者数	人	143	161	180									人 100

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 農業啓発推進事業	A	A	A									
2	2 農産物展示品評会事業	A	A										○
3	3 都市農業活性化農地活用事業	B	B	B									○
4	4 花とみどりいっぱい運動事業	D	D	D									○
5	5 有害鳥獣捕獲対策事業	A	A	C									
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	1	C	1	D	1				

【施策評価】

取り組みのあらましから見て、1 安全で新鮮な農産物を消費者に届けま 2 東大阪市の特産物を地域ブランドとして発信しま については事業の進展・継続性があるが、3 農業と農地空間の担い手を育てま 4 農地空間の持つ価値や機能を生かしま については、事業の取り組みが十分実効性のある段階には至っていない。また、5 有害鳥獣被害への対策を進めま については、農業施策を本旨とする農政課が取り組む事業には一定の限界があるものと考えま。

【今後の施策の進め方】

市民・消費者が地元の農業・農産物について、良さや大切さを理解し関心を高め、市内農業の振興・育成につながる諸施策を進めていきたい。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いまか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	経済部
部局長名	大林 武夫

第4部 第24節 産業活動にとって魅力のあるまち

【基本方針】

産業の集積は、本市の発展の基盤であることから、モノづくりをはじめとするすべての産業活動が安定して続けられるよう、産業活動にとって魅力のあるまちづくりを進めます。
 そのため、住宅と工場が共生しながら操業が続けられるような環境づくりや、金融面からの企業活動の支援、産業活動に役立つ情報提供を通じて、地域産業を総合的に支援します。

【取り組みのあらまし】

- 1 居住環境と工場の操業環境の共生を進めます 5
- 2 金融面から産業活動を支援します 6
- 3 経済施策情報を分かりやすく発信します 7
- 4 クリエイション・コア東大阪を有効に活用します 8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 産業活動にとって魅力あるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			32.8										UP
2 クリエイション・コア東大阪総合相談窓口の利用件数	件	8,475	10,803	10,100										5,000件
3 立地促進補助金の対象件数	件	12	13	6										40件

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 集合工場建設事業	D	D										
2	1 モノづくり立地促進補助事業	A	A	D									
3	1 住工共生のまちづくり事業			D								○	
4	2 中小企業融資事業	B	A	A									
5	3 情報提供総合コーディネート事業	C	C	A									
6	3 ビジネスセミナー開催事業	C	A										
7	3 東大阪市技術交流プラザ事業【再掲】	B	B	A									
8	4 クリエイション・コア東大阪活用促進事業	B	B	A								○	
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	4	B	0	C	0	D	2				

【施策評価】

昨年度目標達成度の低かった情報発信関係の事業については、改善を図ることが出来た。

【今後の施策の進め方】

引き続き、操業環境の維持に向けて積極的に施策のPRをはかり、広く事業の周知を行っていくことで計画の実施を目指す。
 中小企業融資事業における小規模企業融資制度について、引き続き資金を必要とする小規模事業者へ案内するとともに、利用しやすい窓口の運営を図る。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	経済部
部局長名	大林 武夫

第4部 第25節 雇用が安定し、働きやすいまち

【基本方針】

雇用が安定することによって生活が安定し、仕事を通じた社会貢献や生きがいを感じることで暮らしが充実します。また、社会の発展にとって雇用の安定は欠かすことのできない要素です。

そのため、勤労者の職業能力を向上させるとともに、雇用の安定に努め、若者や就職困難者が安定して就業し、高齢者が生きがいを持って働くことができるまちをつくりまします。また、勤労者が健康で充実して働くことができ、働きがいのある労働環境を整備します。

【取り組みのあらまし】

- 1 働きがいのある労働環境づくりを支援します
- 2 安心して働ける労働環境づくりを支援します
- 3 若者の就業を応援します
- 4 就職に困っている人の雇用を促します
- 5 高齢者の生きがい就労を応援します
- 6
- 7
- 8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 雇用が安定し、働きやすいまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			21.8										UP
2 労働・就労支援相談の件数	件	372	317	435										1,000 件
3 ハローワーク布施の有効求人倍率(大阪府内の有効求人倍率)	倍率	0.52	0.61	0.92										UP
		0.68	0.81	1.11										

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1	1 勤労者福祉サービスセンター運営補助事業	B	B											
2	1 東大阪市優良社会貢献事業所・従業員表彰事業	C	C											
3	2 ワークサポート事業	A	A	B										
4	3 若年者等就業支援事業	D	C	D										○
5	3 若年者等トライアル雇用支援金事業	B	C	C										○
6	4 就労困難者就労支援事業	A	A	A										○
7	4 雇用開発センター運営補助事業	D	D											
8	5 シルバー人材センター運営補助事業	A	A											
9														
10														
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	1	C	1	D	1					

【施策評価】

若者の雇用情勢が厳しく、ニート状態の若者が増加しており、それらの若者の職業的な自立に向けたきめ細やかな支援を行なっている。

継続的な支援を行なうことにより、相談件数、就職等の進路決定者が増加しており、若者の自立支援としての成果を上げている。

【今後の施策の進め方】

増加する相談にきめ細かく対応するため、予算を増額し、相談体制の強化をはかる。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況の評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	福祉部
部局長名	西田 康裕

第3部 第16節 みんなで支え合う福祉のまち

【基本方針】

すべての人が、互いに尊重し合い、支え合い、だれもが住み慣れた地域で安心して共に暮らすことができるまちをつくります。

そのため、地域住民、福祉関係者や団体、各種の専門機関などと連携して、身近な相談窓口の充実などサービスが利用しやすい仕組みをつくります。また、地域福祉の新たな担い手の育成やネットワークの構築など、地域における福祉環境・基盤づくりに取り組みます。

【取り組みのあらまし】

1 地域で支え合う仕組みづくりを進めます	5 すべての人が生活しやすい環境を整備します
2 身近に相談しやすい環境をつくります	6 質の高い福祉サービスを利用できるようにします
3 ネットワークによって地域福祉の課題を解決します	7
4 地域福祉の担い手づくりを進めます	8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 みんなで支え合う福祉のまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			32.7										UP
2 民生委員・児童委員による相談・支援件数	人	29,796	31,209	未										人 41,300
3 小地域ネットワーク活動	件、人	316875 92784	342062 89869	未										件、人 28,000、74,000

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo. 及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 災害時要援護者登録事業	A	B	A									○
2	2 コミュニティソーシャルワーカー配置事業	A	A	A									
3	3 小地域ネットワーク活動推進事業	A	A	未									
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	2	B	0	C	0	D	0				

【施策評価】

世代を問わない単身世帯の増加や社会的弱者に対する虐待、ひきこもりなどの新たな社会問題等の動向を踏まえ、これまでの取組の成果や残された課題を整理し、地域福祉をさらに推進する方向性を示すため、平成26年3月に「東大阪市第4期地域福祉計画」を策定した。

施策としては、身近な相談窓口となるコミュニティソーシャルワーカーや小地域ネットワーク活動による積極的な支援を行うとともに、社会福祉協議会の地域担当職員が中心となって、地域福祉の推進に関わる専門機関や事業所および行政機関が分野を超えて集う「地域福祉ネットワーク推進会議」を実施することにより、地域にある福祉課題やその解決に向けた情報の共有化を図り、公的な福祉サービスだけでは十分な対応ができない方を支援する基盤づくりを進めることができた。

【今後の施策の進め方】

平成25年に策定した「第4期地域福祉計画」の方針に沿って、地域のすべての人が安心して暮らすことのできる地域福祉の実現の為に、公的な福祉サービスだけでは十分な支援が難しい方や複合的な課題をもつ方、地域との関わりが無い要援護者を、地域を基盤として包み込み、支えあう「共助」のしくみづくりを進める。

その為に引き続き災害時要援護者の登録をすすめていくとともに、小地域ネットワーク活動を通じた地域の福祉課題の把握、そしてコミュニティソーシャルワーカーおよび地域担当職員が連携し、地域福祉ネットワーク推進会議を基盤として、分野横断的に専門機関や事業所、行政等の連携を深めることにより、地域の支援ネットワークを構築していく。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
①

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	福祉部
部局長名	西田 康裕

第3部 第18節 高齢者が生きがいを持って暮らせるまち

【基本方針】

超高齢社会が到来し、多くの高齢者が地域で暮らす時代となる中、高齢者が地域で安心して暮らせるよう、身近で信頼できる相談窓口を整えます。また、介護が必要な高齢者や認知症の高齢者の生活を支える介護サービスを確保し、地域で支え合うネットワークづくりに取り組みます。

さらに、高齢者の健康づくりや介護予防活動を進めるとともに、これまでに培った知識や経験が地域社会のために生かされるなど、高齢者が生きがいを持って生き生きと暮らせるよう支援します。

【取り組みのあらまし】

1 地域生活と自立を支える仕組みづくりを進めます	5 介護保険制度を適正に管理運営します
2 高齢者の健康づくりと介護予防を進めます	6
3 高齢者の生きがいをづくりを応援します	7
4 高齢者の尊厳を守り、支えます	8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 高齢者が安心し、生きがいを持って暮らせるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			29.6									UP
2 地域包括支援センター・在宅介護支援センターの相談件数	件	36,238	35,700	37,000									人 47,500
3 介護予防事業の延べ参加者数	人	13,121	13,255	20,978 (見込み)									人 30,000

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo. 及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政 マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 ひとり暮らし高齢者実態把握事業	B	B	D									
2	1 食の自立支援事業	B	B										
3	1 緊急通報装置レンタル事業	B	B										
4	1 街かどデイハウス運営事業	B	A	B									○
5	1 訪問理美容サービス事業	D	C										
6	1 敬老事業	B	B										
7	1 高齢者ふれあい入浴事業	B	B										
8	1 地域包括支援センター運営事業	A	B	B									○
9	1 家族介護者の支援	D	D										
10	1 地域支え合い体制づくり			A									○
平成25年度目標達成度別事業数		A	2	B	3	C	1	D	2				

【施策評価】

地域包括ケアシステムの中核機関として地域包括支援センターが中心となり高齢者地域ケア会議活動にこれまでからも取り組んできたが、平成25年度については特に医療との連携に力点を置き、医師会、歯科医師会、薬剤師会とのネットワークを進めることができた。また、高齢者虐待防止・認知症高齢者支援事業については、緊急に高齢者を保護するための居室の確保や対応体制の整備、また認知症サポーター養成講座についても積極的に開催した。介護予防事業についてもプログラム開催場所や回数を増やしたことで少しずつではあるが参加者も増加している。一方でひとり暮らし高齢者実態把握事業についてはアンケート送付対象者が65歳に到達されたばかりの方が多く、就労や外出などでアンケートの回収率が前年度より大幅に低下したことを受け、今後の実施手法など検討していく必要があると認識している。

【今後の施策の進め方】

後期高齢者数がピークを迎える2025年を見据え、高齢者が住み慣れた地域において安心して生活を継続できるよう地域包括ケアシステムを構築する必要があり、そのコーディネータ役である地域包括支援センターのより一層の機能強化を図るため関係機関との協働体制や行政のバックアップ体制の構築に努める。また、高齢者の主体的な取り組みを促進するために地域支え合い体制のまちづくりについて引き続き進めていくとともに、介護予防の取り組みについても身近な地域の中で手軽に取り組める方法について検討していく。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	福祉部
部局長名	西田 康裕

第3部 第18節 高齢者が生きがいを持って暮らせるまち

【基本方針】

超高齢社会が到来し、多くの高齢者が地域で暮らす時代となる中、高齢者が地域で安心して暮らせるよう、身近で信頼できる相談窓口を整えます。また、介護が必要な高齢者や認知症の高齢者の生活を支える介護サービスを確保し、地域で支え合うネットワークづくりに取り組みます。

さらに、高齢者の健康づくりや介護予防活動を進めるとともに、これまでに培った知識や経験が地域社会のために生かされるなど、高齢者が生きがいを持って生き生きと暮らせるよう支援します。

【取り組みのあらまし】

1 地域生活と自立を支える仕組みづくりを進めます	5 介護保険制度を適正に管理運営します
2 高齢者の健康づくりと介護予防を進めます	6
3 高齢者の生きがいづくりを応援します	7
4 高齢者の尊厳を守り、支えます	8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 高齢者が安心し、生きがいを持って暮らせるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			29.6									UP
2 地域包括支援センター・在宅介護支援センターの相談件数	件	36,238	35,700	37,000									人 47,500
3 介護予防事業の延べ参加者数	人	13,121	13,255	20,978 (見込み)									人 30,000

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 老人福祉施設等施設整備補助事業(養護・軽費老人ホーム)	—	A	/									
2	2 はり・きゆう等施術事業	B	C	/									○
3	2 介護予防事業	C	C	C									○
4	2 老人センター介護予防事業	D	C	/									
5	2 老人クラブ活動助成事業	B	C	/									
6	3 福祉農園設置事業	B	B	/									
7	4 高齢者虐待の防止、認知症高齢者の支援	A	A	A									○
8	5 介護基盤の整備(社会福祉施設等整備費補助事業)	A	A	B									
9	5 スプリンクラー整備事業	A	/	/									
10	5 介護相談員派遣事業	B	B	/									
平成25年度目標達成度別事業数		A	/	B	/	C	/	D	/				

【施策評価】

(This area is currently blank in the original image)

【今後の施策の進め方】

(This area is currently blank in the original image)

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
/

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	福祉部
部局長名	西田 康裕

第3部 第18節 高齢者が生きがいを持って暮らせるまち

【基本方針】

超高齢社会が到来し、多くの高齢者が地域で暮らす時代となる中、高齢者が地域で安心して暮らせるよう、身近で信頼できる相談窓口を整えます。また、介護が必要な高齢者や認知症の高齢者の生活を支える介護サービスを確保し、地域で支え合うネットワークづくりに取り組みます。

さらに、高齢者の健康づくりや介護予防活動を進めるとともに、これまでに培った知識や経験が地域社会のために生かされるなど、高齢者が生きがいを持って生き生きと暮らせるよう支援します。

【取り組みのあらまし】

1 地域生活と自立を支える仕組みづくりを進めます	5 介護保険制度を適正に管理運営します
2 高齢者の健康づくりと介護予防を進めます	6
3 高齢者の生きがいづくりを応援します	7
4 高齢者の尊厳を守り、支えます	8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 高齢者が安心し、生きがいを持って暮らせるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			29.6										UP
2 地域包括支援センター・在宅介護支援センターの相談件数	件	36,238	35,700	37,000										人 47,500
3 介護予防事業の延べ参加者数	人	13,121	13,255	20,978 (見込み)										人 30,000

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1	5 介護給付適正化事業	A	B	D										
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
平成25年度目標達成度別事業数		A		B		C		D						

【施策評価】

【今後の施策の進め方】

以上の□枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	福祉部
部局長名	西田 康裕

第3部 第19節 障害のある人が自立して生活できるまち

【基本方針】

障害のある人が生活しやすいまちは、すべての人にとって生活しやすいまちです。障害のある人のあらゆる権利や自由が確保され、家庭や地域社会の中で自立した生活ができるまちづくりをめざします。そのため、障害のある人の生涯を通じ、成長の段階に応じた療育・就労・生活支援サービスをはじめとした基盤整備を進め、相談しやすい環境づくりや関係機関の連携などで、障害のある人の生活の安全・安心機能を高めます。

【取り組みのあらまし】

- 1 障害のある人への理解と地域の交流を進めます 5
- 2 障害のある人が自立した生活ができるよう支援します 6
- 3 障害者教育や療育サービスを充実させます 7
- 4 障害のある人の就労や保健・医療を支えます 8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 障害のある人が家庭や地域社会の中で自立して生活できるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			27.1									UP
2 障害福祉サービスの利用率	%	80.1	65.0	72.8									% 80.0
3 療育センター内診療所の延べ受診者数	人	10,565	11,045	11,091									人 18,000

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 障害者理解啓発事業			C									
2	1 障害者虐待の防止			B									
3	2 住宅改造助成事業	B	C	B									○
4	2 社会福祉施設等施設設備整備費補助事業	C	A	A									
5	2 障害者自立支援にかかる給付	A	A										
6	2 障害者地域生活支援事業	A	B	B									○
7	2 コミュニケーション支援事業	B	C										
8	2 在宅心身障害者(児)短期入所事業	A	B	A									
9	2 障害者ケアホーム運営安定化事業	B	A	A									
10	2 成年後見支援センター事業	A	A										
平成25年度目標達成度別事業数		A	3	B	4	C	2	D	0				

【施策評価】

地域で自立した生活をおくるための環境を整えるため、障害のある人への理解啓発活動を行うとともに、地域生活支援を行った。また新たに虐待の防止などに取り組んだ。

【今後の施策の進め方】

平成26年4月より障害者総合支援法において重度訪問介護の対象者の拡大等、さらなる福祉サービスの充実などにより、地域社会における共生の実現を総合的に支援し、また地域生活支援事業についてもより充実したものになるよう努める。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	福祉部
部局長名	西田 康裕

第3部 第19節 障害のある人が自立して生活できるまち

【基本方針】

障害のある人が生活しやすいまちは、すべての人にとって生活しやすいまちです。障害のある人のあらゆる権利や自由が確保され、家庭や地域社会の中で自立した生活ができるまちづくりをめざします。
 そのため、障害のある人の生涯を通じ、成長の段階に応じた療育・就労・生活支援サービスをはじめとした基盤整備を進め、相談しやすい環境づくりや関係機関の連携などで、障害のある人の生活の安全・安心機能を高めます。

【取り組みのあらまし】

- 1 障害のある人への理解と地域の交流を進めます 5
- 2 障害のある人が自立した生活ができるよう支援します 6
- 3 障害者教育や療育サービスを充実させます 7
- 4 障害のある人の就労や保健・医療を支えます 8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 障害のある人が家庭や地域社会の中で自立して生活できるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			27.1									UP
2 障害福祉サービスの利用率	%	80.1	65.0	72.8									% 80.0
3 療育センター内診療所の延べ受診者数	人	10,565	11,045	11,091									人 18,000

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	3 新障害児者支援拠点施設整備事業	A	A	B									○
2	4 ジョブライフサポーター派遣事業	A	A	C									
3	4 介護タクシー補助事業	C	A										
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A		B		C		D					

【施策評価】

【今後の施策の進め方】

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	福祉部
部局長名	西田 康裕

第3部 第20節 生活自立相談や支援が受けられるまち

【基本方針】

すべての人が健康で文化的な最低限度の生活を営むことは、憲法で保障された権利の一つです。そのため、支援を必要とする人が自立した生活を営めるよう、利用できる支援内容についての情報を入手し、必要な支援が受けられる環境を整備します。また、高齢者の生活が安定するよう、国民年金制度の手続きなどについて、市民の身近な窓口となります。

【取り組みのあらまし】

- 1 低所得者世帯などの生活自立を応援します 5
- 2 生活保護を適正に実施します 6
- 3 国民年金制度のサービス内容を分かりやすく発信します 7
- 4 8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 生活自立相談や支援が受けられるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			26.8										UP
2 福祉事務所で実施している就労支援相談の件数	件	1,900	2280	2656										1,300件
3 就労支援相談によって自立した人の割合	%	9.6	2.3	4.4										20.0%

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1	2 生活保護適正実施推進事業	B	B	未										
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
平成25年度目標達成度別事業数		A	0	B	0	C	0	D	0					

【施策評価】

就労支援事業については、就労指導員・就労支援員の増員により支援相談件数は年々伸びている。平成25年度は相談回数を重ねるなどの支援強化を行い、就労支援相談によって自立した人の割合の増加に繋がったものとする。就労支援相談によって自立した人の割合は全般的に低い割合であるが、これは、稼働能力のある対象者に対し、保護開始後早期に就労支援相談を開始し、回数を重ねたのべ件数で算出しているためである。

【今後の施策の進め方】

就労支援事業については、支援相談がより効果的に就労・増加につながるよう、多様な事業を系統的に展開していく。民間事業者に委託している就労支援事業により効果的な支援を行っていく。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	福祉部
部局長名	西田 康裕

行財政編 効率的で健全な行財政運営が行われるまち

【基本方針】

本市の未来を担う子どもたちの健康や学力、豊かな人権感覚、主体性や調和のとれた人間性を育み、子どもたちの人格の完成をめざします。
 そのため、教職員の資質や能力の向上、教育環境の整備、安全な学校園づくりに努めるとともに、子どもたちがすくすく育つ環境づくりのため、地域や家庭の教育力を活性化し、学校園と連携して教育に取り組めます。

【取り組みのあらまし】

- 1 将来を見越した行財政改革に取り組めます 5
- 2 これからの行政運営を担う人材を確保し、育成、活用します 6
- 3 歳入を確保し、市役所の財政力を向上させます 7
- 4 市役所の電子化を進め、市民の利便性や事務の効率を向上させます 8

指標	単位	実績値										目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 効率的で健全な行財政運営が進められていると思う市民の割合	%			22.2									▲ UP
2													
3													

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 生活保護費返納金の未収金の解消			未									○
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	0	B	0	C	0	D	0				

【施策評価】

生活保護費返還金・徴収金の債務者は、生活保護受給者もしくは以前に受給していた方のため、資力が十分に回復しておらず、収納率は低い状況である。未収金特別対策室の支援を受け、効率的・効果的に債権管理を行うべく「生活保護費返還金・徴収金債権管理事務マニュアル」を策定し、生活保護費返納金・徴収金の未収金について適正に管理する仕組みを構築した。

【今後の施策の進め方】

「生活保護費返還金・徴収金債権管理事務マニュアル」を活用し、生活保護関係職員が債権管理に関する理解を深め、生活保護費返還金・徴収金の適切な管理をしていく。また、法第63条、法第78条の発生要因の分析と発生抑制、早期の発見、チェック機能の強化手法を検討していく。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	子どもすこやか部
部局長名	田村 敦司

第3部 第17節 安心して子どもを生み、育てられるまち

【基本方針】

子どもを慈しむとともにいとしく思い、子育てを喜び、子どもの健やかな成長を願う気持ちは、だれもが持っています。安心して出産、子育てができる環境づくりによって、子どもを育てる喜びが実感でき、すべての子どもの健やかな成長と、子どもの権利が尊重され、子どもの生きる力や夢を育むことができるまちをめざします。

【取り組みのあらまし】

1 地域全体で子育てを見守ります	5 すべての人が生活しやすい環境を整備します
2 子どもと親の健やかな心と体づくりを進めます	6 質の高い福祉サービスを利用できるようにします
3 だれもが安心できる育児環境を整備します	7
4 一人親家庭の子育てを応援します	8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 安心して子どもを生み、育てることができるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			31.3									UP
2 子育て支援事業の延べ利用者数	人	151,363	153,091	205,064									人 130,000
3 保育所の入所待機児童数	人	192	214	230									人 0

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 地域子育て支援センター整備事業	A	A	A									○
2	1 地域子育て支援センター事業	A	A	B									○
3	1 児童育成地域活動事業	A	A	A									
4	2 児童虐待防止事業	B	C	A									○
5	2 児童発達支援相談事業			B									○
6	3 民間保育所施設整備補助事業	C	C	D									○
7	3 子ども・子育て支援事業計画の策定			A									○
8	4 母子家庭等対策総合支援事業	A	A	A									
9	4 母子自立支援事業	A	A	A									○
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	6	B	2	C	0	D	1				

【施策評価】

楠根子育て支援センターの開設を始め、在宅で子育てされている方への支援を進めてきているが、利用者の横ばい傾向はまだ支援センターが市民に知られていないとも受け止められる。待機児童の解消に向けた民間保育所の施設整備も進めており総体としては底上げを計っているがまだまだ市民ニーズに応えたものとはなっていない。子どもを生み育てることに夢がもてるまちづくりをめざし待機児童の解消策と在宅の子育て支援策の拡充を車の両輪のごとく取り組む必要がある。

【今後の施策の進め方】

平成27年4月に施行される子ども・子育て支援新制度は全ての子どもたちに良質の教育・保育を提供しうる環境整備をはかる新しい仕組みである。本市においても1万人に対して取り組んだニーズ調査、特に独自に取り組んだ妊婦に対するニーズ調査の結果を踏まえ、妊娠・出産・子育てにおいて切れ目のない寄り添い型の支援ができるよう施策構築をめざす。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
①

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	子どもすこやか部
部局長名	田村 敦司

第3部 第19節 障害のある人が自立して生活できるまち

【基本方針】

障害のある人が生活しやすいまちは、すべての人にとって生活しやすいまちです。障害のある人のあらゆる権利や自由が確保され、家庭や地域社会の中で自立した生活ができるまちづくりをめざします。そのため、障害のある人の生涯を通じ、成長の段階に応じた療育・就労・生活支援サービスをはじめとした基盤整備を進め、相談しやすい環境づくりや関係機関の連携などで、障害のある人の生活の安全・安心機能を高めます。

【取り組みのあらまし】

- 1 障害のある人への理解と地域の交流を進めます 5
- 2 障害のある人が自立した生活ができるよう支援します 6
- 3 障害者教育や療育サービスを充実させます 7
- 4 障害のある人の就労や保健・医療を支えます 8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 障害のある人が家庭や地域社会の中で自立して生活できるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			27.1										UP
2 障害福祉サービスの利用率	%	80.1	65.0	72.8										% 80.0
3 療育センター内診療所の延べ受診者数	人	10,565	11,045	11,091										人 18,000

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1	3 障害の発達支援にかかる給付・児童相談事業			A										○
2	3 発達障害支援事業			B										○
3	3 児童デイサービス事業	A	A											
4	3 新障害児者支援拠点施設整備事業	A	A	B										○
5														
6														
7														
8														
9														
10														
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	2	C	0	D	0					

【施策評価】

平成24年度の児童福祉法の改正にともない、障害児への固有の療育サービスとして放課後等デイサービスなどの児童発達支援事業がはじまり、確実に事業の定着が図られてきたといえる。引き続き障害児への早期発見・早期療育につながる施策展開がのぞまれる。またとりわけ障害児への支援は保護者の障害への需要度が重要であり、そうした寄り添い型の支援が求められるため、今後相談支援の充実がより重要となる。

【今後の施策の進め方】

児童発達支援事業の展開により着実に障害児への療育支援は定着してきたが、今後はより適切な療育支援を提供するため、個々の障害児にあったサービス利用計画や個別支援計画が重要となる。障害児相談支援の充実を図っていく。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
①

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	子どもすこやか部
部局長名	田村 敦司

行財政編 効率的で健全な行財政運営が行われるまち

【基本方針】

地方自治体の基本的な役割である「住民の福祉の増進」を果たしていくためには、市の将来を見越し、社会経済情勢の変化などにも十分に対応ができる「強い自治体」となる必要があります。そのため、市民ニーズや社会情勢などに対応できる体制づくりや、職員の能力向上、財政基盤の強化、業務の電子化などを進めることにより、効率的かつ健全な行財政運営が行われるまちにします。

【取り組みのあらまし】

- 1 将来を見越した行財政改革に取り組みます 5
- 2 これからの行政運営を担う人材を確保し、育成、活用します 6
- 3 歳入を確保し、市役所の財政力を向上させます 7
- 4 市役所の電子化を進め、市民の利便性や事務の効率を向上させます 8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 効率的で健全な行財政運営が進められていると思う市民の割合	%			22.2										UP
2														
3														

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1	1 保育料収納業務	B	B	B										○
2	1 母子寡婦福祉資金貸付金の滞納解消			B										○
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
平成25年度目標達成度別事業数		A	0	B	2	C	0	D	0					

【施策評価】

保育料の未収金収納の改善に向け、当初からの口座振替を奨励しているが、社会経済状況から引き落とせずやむなく納付書に切り替えざるを得ない状況もある。しかしながら保育料は当然サービスを利用される方の応能負担であり、現年度徴収はもちろんのこと、滞納者へも公債権である意識を持って回収を強化する必要がる。母子寡婦福祉資金の貸付については、私債権である中で一定の強化が図られてきている。

【今後の施策の進め方】

子ども子育て支援新制度をはじめとする施策の展開を進めるには、その財源である歳入の増収が不可欠である。その意味で保育所入所決定者には口座振替の徹底を図り現年度の収納率の更なる向上と滞納者への債権回収の強化を図る。また母子寡婦福祉資金の貸付金の滞納回収については未収金対策室とも連携し強化を図る。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	健康部
部局長名	河内 俊之

第3部 第13節 健康で元気に暮らせるまち

【基本方針】

市民一人ひとりが、心も体も健康で生きがいを持って人生を送れるよう、健康で元気に暮らせるまちをつくりまします。

そのため、運動習慣や食生活の改善など規則正しい生活習慣を確立し、健康診査 やがん検診の受診など健康管理に対する意識を高め、生活習慣病の予防を進めます。また、地域保健対策や健康危機管理の拠点として保健所などの組織体制を確保し、感染症の予防と拡大防止や、心と体の健康づくりに取り組みます。

【取り組みのあらまし】

1 地域保健対策、健康危機管理対策を総合的に進めます	5 特定疾患や呼吸器系疾患対策などを充実させます
2 健康づくりや食育 に取り組む市民を増やします	6 心の健康づくりに取り組みます
3 疾病などの予防や早期発見に努めます	7
4 感染症の予防と拡大防止に努めます	8

指 標	単 位	実 績 値											目 標 値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 心も体も健康で元気に過ごせるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			31.5									UP
2 市民の平均寿命(男性・女性)	歳	79.0・85.9	79.0・85.9	79.0・85.9									UP
3 胃がん検診の受診率	%	11.1	10.2	10.2									% 15.0

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 健康危機管理対策	C	C	A									
2	2 健康トライ21 啓発事業	A	A	B									
3	2 食育関係事業	A	A	A								○	
4	2 栄養改善業務	B	B										
5	3 健康増進事業	A	B	B								○	
6	4 結核対策事業	A	B	A									
7	4 予防接種事業	A	A	B									
8	4 感染症対策事業	B	B										
9	4 エイズ対策経費	A	A										
10	6 自殺予防対策事業	A	A	A								○	
平成25年度目標達成度別事業数		A	5	B	3	C	0	D	0				

【施策評価】

健康危機管理については、迅速・適切に対処できるよう研修や訓練を通じて職員の資質向上などを図っている。

健康トライ21(第2次)計画がスタートし、市民一人ひとりが心身ともに健康で生きがいを持って暮らせるよう、市民及び関係機関、関係部局と連携し協働で新たな事業の準備、推進に努めてきた。また、健康トライ21(第2次)の1分野である「歯・口腔の健康」については、住民の実態調査や生の声を反映させた「東大阪市歯科口腔保健計画(はっぴいトライ)」を平成26年3月に策定した。食育関係事業、自殺予防対策事業、その他の事業についても目標をほぼ達成することができた。

【今後の施策の進め方】

健康危機の発生時に効率的な運用ができるよう、資機材の整備および健康危機管理対処チームの見直しや訓練の実施を行い体制の確保に努める。

また、市民が健康増進に自ら取り組めるような環境整備を、市民及び関係機関、関係部局と連携して取り組み、総合的に健康施策を推進していけるよう努める。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	健康部
部局長名	河内 俊之

第3部 第13節 健康で元気に暮らせるまち

【基本方針】

市民一人ひとりが、心も体も健康で生きがいを持って人生を送れるよう、健康で元気に暮らせるまちをつくりたい。

そのため、運動習慣や食生活の改善など規則正しい生活習慣を確立し、健康診査 やがん検診の受診など健康管理に対する意識を高め、生活習慣病の予防を進めます。また、地域保健対策や健康危機管理の拠点として保健所などの組織体制を確保し、感染症の予防と拡大防止や、心と体の健康づくりに取り組みます。

【取り組みのあらまし】

1 地域保健対策、健康危機管理対策を総合的に進めます	5 特定疾患や呼吸器系疾患対策などを充実させます
2 健康づくりや食育 に取り組む市民を増やします	6 心の健康づくりに取り組みます
3 疾病などの予防や早期発見に努めます	7
4 感染症の予防と拡大防止に努めます	8

指標	単位	実績値										目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 心も体も健康で元気に過ごせるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			31.5									UP
2 市民の平均寿命(男性・女性)	歳	79.0・85.9	79.0・85.9	79.0・85.9									UP
3 胃がん検診の受診率	%	11.1	10.2	10.2									% 15.0

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
11	6 精神保健福祉対策事業	B	B	A									
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
平成25年度目標達成度別事業数		A		B		C		D					

【施策評価】

【今後の施策の進め方】

以上の 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	健康部
部局長名	河内 俊之

第3部 第14節 安心して医療を受けられるまち

【基本方針】

命を守る保健・医療は、地域にとって掛け替えのないものです。保健・医療の関係機関だけでなく、患者や家族など市民みんなで医療を支え、市民が自らの状態に合った安全・安心な医療を受けることができるまちをつくります。そのため、医療の質を確保するとともに、近隣市との連携による救急の広域化や地域間での医療施設の連携、安心できる診療体制の構築を進めます。また、医療機関の適正な利用や薬の使用方法について、市民の理解を深めます。

【取り組みのあらまし】

1 地域の医療関係機関の連携によって医療体制を整備します	5 医療相談窓口を充実させます
2 医療機関の適正な利用を進めます	6 薬についての健康教育を拡充します
3 医療機関などへの検査や指導をより充実させます	7
4 市立総合病院の設備や機能を充実させます	8

指標	単位	実績値										目標値		
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 安心して医療を受けられるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			44.9									▲	UP
2 病院への立ち入り検査で適合した項目の割合	%	98.1	98.0	98.0									▲	% 100 UP
3 薬健康教育や薬物乱用防止講習の延べ参加者数	人	5,762	7,373	7,962									▲	UP

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 小児初期救急広域運営事業	A	A	A									○
2	1 休日夜間二次救急診療体制運営事業	A	A	A									
3	3 医療機関などへの立入検査、監視指導	B	B										
4	6 医薬品適正供給確保事業	B	B	B									
5	6 薬物乱用防止講習会などの実施	A	A	A									
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	3	B	1	C	0	D	0				

【施策評価】

市民が安心して医療を受けられるよう、医療機関や八尾市・柏原市と協力して365日輪番制（交代制）による休日夜間二次救急診療体制や小児救急体制の確保・継続を行った。

医薬品適正供給確保事業は、昨年度より適合率が上昇しているが、不適正施設が固定傾向にある。

薬物乱用防止講習会などの実施については、今回見直しをした目標値（3,000人から6,000人）を上回っていることから、順調に事業が進んでいる。

【今後の施策の進め方】

救急体制については、休日夜間二次救急診療体制については医師会・医療機関等の協力を、また小児救急については八尾市・柏原市と協力し、今後も維持継続していくことが重要である。

医薬品適正供給確保事業は、不適正施設の状況に応じた粘り強い指導を実施する。

薬物乱用防止講習会などの実施は、SNSを活用し、若年層への薬物乱用防止啓発を図る。また、医薬品の適正使用の啓発として、市政だよりや電光掲示板等により、かかりつけ薬局及びジェネリック医薬品の有用性について、広報活動を推進する。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
①

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	健康部
部局長名	河内 俊之

第3部 第15節 生活衛生が行き届いたまち

【基本方針】

生活の質を高め、市民が安全で快適な暮らしを送ることができるよう、生活衛生が行き届いたまちをつくります。そのため、食品関係、生活衛生関係施設などの監視指導などにより、食中毒や感染症、食品事故、飲料水などの健康危機の発生を防ぎます。もし被害が発生した場合には、被害拡大の防止に努め、復旧のための取り組みを行います。また、火葬場の改善なども進めます。

さらに、狂犬病予防と動物愛護の視点から、飼い犬や飼い猫の適正な飼育の在り方を広めます。

【取り組みのあらまし】

1 食品などの安全を確保します	5	飼い犬や飼い猫の適正な飼育を啓発します
2 良好な生活環境を提供します	6	
3 保健衛生に関する試験検査機能を充実させます	7	
4 斎場の改善に取り組みます	8	

指標	単位	実績値										目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 生活衛生が行き届いたまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			43.7									UP
2 食品衛生法に違反した食品の件数	件	1	0	0									DOWN
3 生活衛生関係施設の適正割合	%	88	89	89									% 95

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 食品安全衛生の強化	A	A	A									
2	2 環境衛生対策の強化			B									
3	3 環境衛生検査センター検査機器整備事業	-	C	A									
4	4 斎場整備事業	-	A	B									
5	5 動物指導管理業務	B	B	A									
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	3	B	2	C	0	D	0				

【施策評価】

食品安全衛生の強化事業については食の安全・安心を確保するため、平成25年度東大阪市食品衛生監視指導計画に基づき、食品関係施設に対する監視指導等の食品安全衛生事業を実施し、良好な結果を得ている。

環境衛生対策事業については毎年定期的に入立検査を行う施設において、建物の構造設備が原因で不適正となる施設があり、早急な改善が困難であることから、不適正施設の割合が減少せず生活衛生関係施設の適正割合は昨年度と同じであった。

環境衛生検査センター検査機器整備事業については、あらたに定められたガイドラインに対応可能な分析機器の導入がなされ、食の安心・安全の確保に効果があった。

斎場整備事業については、安定的かつ確実な火葬を執行するため、炉の補修並びに施設の修繕を行った。また、斎場整備計画を推進するため、情報及び資料収集を行った。

また動物指導管理業務については、日曜日会場を含めた集合注射や委託動物病院を中心とした個別注射といった手法の工夫によって一定の注射頭数を確保する一方で、人と動物が共生できる社会を実現するため、市民ボランティアとの協働による動物の適正飼養啓発キャンペーン、犬、猫譲渡会、犬のしつけ方教室、犬の接し方教室（小学4年生対象）、健康フェスタ（市獣医師会と共催）などを実施することで、適正飼養を市民へ広めることができている。

【今後の施策の進め方】

食の安全・安心の確保については、年度ごとに市民の意見を踏まえた東大阪市食品衛生監視指導計画を策定し効率的に監視指導等を実施することにより、健康危機の発生防止に努める。

環境衛生の対策事業については施設数が多い業種については、施設の規模等を考慮し効果的な立入検査の実施に努める。監視指導後に改善が見られない施設に対しては、引き続き立入検査を行い、強い監視指導の実施に努める。

環境衛生検査センター検査機器整備事業については、機器更新時期の見直し・集中集約化も図りつつ、検査機能を維持するため必要な分析機器の整備を進めていく。

斎場整備事業については、既存施設の今日的な状況を再検討するとともに、新斎場の建設を視野に斎場の整備計画の推進に取り組んでいく。

狂犬病や動物由来感染症、動物の愛護と適正飼養について、市政だより、ウェブサイト、市民ボランティアとの協働による動物の適正飼養啓発キャンペーンなどにより、市民に対し広く情報提供を行い更なる普及啓発に努める。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	健康部
部局長名	河内 俊之

第3部 第17節 安心して子どもを生み、育てられるまち

【基本方針】

子どもを慈しむとともにいとしく思い、子育てを喜び、子どもの健やかな成長を願う気持ちは、だれもが持っています。安心して出産、子育てができる環境づくりによって、子どもを育てる喜びが実感でき、すべての子どもの健やかな成長と、子どもの権利が尊重され、子どもの生きる力や夢を育むことができるまちをめざします。

【取り組みのあらまし】

1 地域全体で子育てを見守ります	5 すべての人が生活しやすい環境を整備します
2 子どもと親の健やかな心と体づくりを進めます	6 質の高い福祉サービスを利用できるようにします
3 だれもが安心できる育児環境を整備します	7
4 一人親家庭の子育てを応援します	8

指標	単位	実績値										目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 安心して子どもを生み、育てることができるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			31.3									UP
2 子育て支援事業の延べ利用者数	人	151,363	153,091	205,064									人 130,000
3 保育所の入所待機児童数	人	192	214	230									人 0

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	2 母子保健事業	B	B	B									○
2	2 思春期保健対策事業	A	A										
3	2 健診時育児支援・虐待対応サポート事業	A	A										
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	0	B	1	C	0	D	0				

【施策評価】

母子保健活動のスタートとなる妊娠期をより安心して過ごし、安全に出産するために、妊婦健康診査(14回 総額10万円/人)の周知について力を入れてきた。また、出産後の育児支援をできるだけ早期に開始できるように、妊娠期からの個別支援を行うとともに、子どもすこやか部とは、乳幼児虐待予防の観点をはじめとし、総合的に連携を強化してきている。こんにちは赤ちゃん事業も充実してきている中で、産後早期からの行政サービスを提供し、すべての母親が安心して子育てができるための体制づくりを強化している。

【今後の施策の進め方】

母親が妊娠期から安心して子育てに臨めるように、全ての事業において虐待予防と発達支援の視点を持ち、引き続き子どもすこやか部と連携し支援できるよう努める。また、発達障がい児の早期発見を行い、早期療育に繋げることができる体制づくりも再構築していく。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況の評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
①

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	健康部
部局長名	河内 俊之

第3部 第18節 高齢者が生きがいを持って暮らせるまち

【基本方針】

超高齢社会が到来し、多くの高齢者が地域で暮らす時代となる中、高齢者が地域で安心して暮らせるよう、身近で信頼できる相談窓口を整えます。また、介護が必要な高齢者や認知症の高齢者の生活を支える介護サービスを確保し、地域で支え合うネットワークづくりに取り組みます。

さらに、高齢者の健康づくりや介護予防活動を進めるとともに、これまでに培った知識や経験が地域社会のために生かされるなど、高齢者が生きがいを持って生き生きと暮らせるよう支援します。

【取り組みのあらまし】

1 地域生活と自立を支える仕組みづくりを進めます	5 介護保険制度を適正に管理運営します
2 高齢者の健康づくりと介護予防を進めます	6
3 高齢者の生きがいづくりを応援します	7
4 高齢者の尊厳を守り、支えます	8

指標	単位	実績値										目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 高齢者が安心して、生きがいを持って暮らせるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			29.6									UP
2 地域包括支援センター・在宅介護支援センターの相談件数	件	36,238	35,700	37,000									47,500人
3 介護予防事業の延べ参加者数	人	13,121	13,255	9,946									30,000人

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
2	2 介護予防事業			D									○
平成25年度目標達成度別事業数		A	0	B	0	C	0	D	1				

【施策評価】地域に出向き、自治会や包括支援センター、市民グループ等の組織と連携し、介護予防事業を実施してきた。特に教室の立ち上げ支援においては日頃の保健センター活動から地域に働きかけて介護予防が継続的に実施できるよう支援を行った。また、生きがいづくりと合わせて、保健所としてがん検診や健康づくりの普及啓発を行うことができたが、評価指標である事業参加者数は伸ばすことができなかった。

【今後の施策の進め方】

- ・事業の評価から地域市民が更に主体的に参加できるような魅力的な介護予防事業となるよう、質についても検討を行い、事業参加者の増加をめざす。
- ・介護予防事業の方向性を高齢介護課や包括支援センターと共有し、保健所として健康づくりの取組みや市民と協働で実施できるような健康促進事業を増やすなどの取組みを推進していく。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況の評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく

施策実現状況の評価
③

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	環境部
部局長名	植田 洋一

第3部 第16節 みんなで支え合う福祉のまち

【基本方針】

すべての人が、互いに尊重し合い、支え合い、だれもが住み慣れた地域で安心して共に暮らすことができるまちをつくります。

そのため、地域住民、福祉関係者や団体、各種の専門機関などと連携して、身近な相談窓口の充実などサービスが利用しやすい仕組みをつくります。また、地域福祉の新たな担い手の育成やネットワークの構築など、地域における福祉環境・基盤づくりに取り組みます。

【取り組みのあらまし】

1 地域で支え合う仕組みづくりを進めます	5 すべての人が生活しやすい環境を整備します
2 身近に相談しやすい環境をつくります	6 質の高い福祉サービスを利用できるようにします
3 ネットワークによって地域福祉の課題を解決します	7
4 地域福祉の担い手づくりを進めます	8

指 標	単 位	実 績 値											目 標 値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 みんなで支え合う福祉のまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			32.7									UP
2 民生委員・児童委員による相談・支援件数	人	29,796	31,209	未									人 41,300
3 小地域ネットワーク活動	件、人	316,875 92,784	342,062 89,869	未									件、人 28,000、74,000

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo. 及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政 マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	3 ふれあい収集事業			C									○
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	0	B	0	C	1	D	0				

【施策評価】

環境部では、後期基本計画の基本方針に沿うべく、ごみ出しが困難な高齢者または障害のある人の在宅生活を支援するため、一定の要件に該当する方を対象に個別訪問による家庭ごみの収集を実施する「ふれあい収集事業」を実施してきた。平成25年度の目標達成度については、目標人数120人に対し実績が92人（達成率76.7%）で目標達成には至っていない。

【今後の施策の進め方】

ふれあい収集事業については、申込件数を増やすために今後より一層の啓発を検討・実施する。また、在宅医療廃棄物についても、ふれあい収集事業に関連して検討していき、目標達成を目指す。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
③

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	環境部
部局長名	植田 洋一

第5部 第32節 良好な環境を次代に引き継ぐまち

【基本方針】

生活のあらゆる活動を原因とする環境負荷により、地球温暖化が進む中、私たち一人ひとりが環境負荷のより少ない行動を取ることで、次の世代へ良好な環境を引き継ぎます。
 そのため、地球温暖化対策などの環境施策を総合的に進め、市民や事業者などがそれぞれの立場で環境保全活動に取り組めます。また、環境負荷の少ない循環型のまちをめざし、ごみの減量やリサイクルを一層進め、ごみの適正処理に努めるとともに、まちの美化を進めます。さらに、都市の発展によって発生するごみや、し尿の適正処理、公害の未然防止に取り組めます。

【取り組みのあらまし】

1 総合的な環境施策を進めます	5 ごみや、し尿の適正処理を行います
2 地球温暖化問題を市民と共に考えます	6 公害の防止などに取り組めます
3 ごみの減量・リサイクルによって、循環型社会をつくります	7
4 不法投棄を防止し、まちの美化を進めます	8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 良好な環境を次代に引き継ぐまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			27.1										UP
2 不法投棄の処理件数	件	3,560	2,810	2,201										DOWN
3 市域の温室効果ガス総排出量(二酸化炭素換算)	万t-CO2	262	未	未										DOWN

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1	1 第2次環境基本計画推進事業	A	A											
2	2 東大阪市地球温暖化対策実行計画推進事業	A	B	未									○	
3	2 東大阪市豊かな環境創造基金活用事業	B	C	B										
4	2 温暖化防止啓発事業	A	A	A									○	
5	2 環境啓発事業	A	A	B									○	
6	3 ごみ減量推進事業	A	A	B									○	
7	4 (仮称) ごみのないきれいなまちをつくる条例の制定事業	D	C	A									○	
8	4 産業廃棄物対策事業	B	B	A										
9	5 清掃車両整備事業	A	A	A										
10	5 環境事業所統合事業	A	A	A										
平成25年度目標達成度別事業数		A	9	B	4	C	0	D	0					

【施策評価】

環境部では、生活、都市、自然、循環社会、地球の5つの範囲から環境対策に努め、また後期基本計画の基本方針に沿うべく個々の事業を実施した。平成25年度の目標達成について、全17事業中(4事業は評価のため集計中)Aが9事業、Bが4事業であり、また、平成24年度の達成度がCだった事業が平成25年度はA、Bと改善がみられ、目標はおおむね達成できたものとする。

【今後の施策の進め方】

平成24年度評価から今回の評価が下がってしまった環境啓発事業については、幅広い世代を対象とした実施メニューの拡充し、引き続き啓発を続け、ゴミ減量推進事業は、引き続き市自治協議会と連携し、周知啓発を図るとともに、集団回収、拠点回収、イベント回収の充実を図り、公害対策事業については、工場以外の規制が困難な苦情が増加しているため、啓発看板を用いた指導や意識向上に努める。また、今回のA評価だった事業についても、各々改善すべき点を実行し、目標達成となるように事業を進めていく。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況の評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	環境部
部局長名	植田 洋一

第5部 第32節 良好な環境を次代に引き継ぐまち

【基本方針】

生活のあらゆる活動を原因とする環境負荷により、地球温暖化が進む中、私たち一人ひとりが環境負荷のより少ない行動を取ることで、次の世代へ良好な環境を引き継ぎます。
 そのため、地球温暖化対策などの環境施策を総合的に進め、市民や事業者などがそれぞれの立場で環境保全活動に取り組めます。また、環境負荷の少ない循環型のまちをめざし、ごみの減量やリサイクルを一層進め、ごみの適正処理に努めるとともに、まちの美化を進めます。さらに、都市の発展によって発生するごみや、し尿の適正処理、公害の未然防止に取り組めます。

【取り組みのあらまし】

1 総合的な環境施策を進めます	5 ごみや、し尿の適正処理を行います
2 地球温暖化問題を市民と共に考えます	6 公害の防止などに取り組めます
3 ごみの減量・リサイクルによって、循環型社会をつくります	7
4 不法投棄を防止し、まちの美化を進めます	8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 良好な環境を次代に引き継ぐまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			27.1										UP
2 不法投棄の処理件数	件	3,560	2,810	2,201										DOWN
3 市域の温室効果ガス総排出量(二酸化炭素換算)	万t-CO2	262	未	未										DOWN

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
11	5 大阪湾広域廃棄物物理処分場建設事業(フェニックス)	A	A	A										
12	5 清掃運搬施設等(重機及び運搬車両)整備事業	A	A	A										
13	5 基幹的整備事業	A	A	A										
14	5 新工場建設事業	A	A	A										
15	5 粗大ごみ処理施設整備事業	A	A											
16	6 公害対策事業(産業公害の防止)	B	A	B										
17	6 公害対策事業(環境監視)	B	B											
平成25年度目標達成度別事業数		A		B		C		D						

【施策評価】

【今後の施策の進め方】

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	建設局 建設企画総務室
部局長名	小川 克則

第5部 第28節 安全で快適な市街地のあるまち

【基本方針】

都市や各地域の拠点が整備され、優れた都市空間が形成された、安全で快適な市街地のあるまちをつくりまします。

そのため、市民の意見を反映し、都市づくりの方針をつくりまします。また、都市の拠点づくりなどを進め、まちを活性化させまします。さらに、市民や事業者などの理解と協力の下、まちづくりへの啓発や指導を強化しまします。

【取り組みのあらまし】

- 1 幅広い視点から総合的な都市づくりを行います 5
- 2 都市拠点などを整備し、まちを活性化させまします 6
- 3 優れた都市空間を形成しまします 7
- 4 8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 安全で快適な市街地のあるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			27.8										UP
2 総合設計制度によって、設けられた公開空地の累計面積	m ²	6,562	6,562	6,562										UP
3 違法簡易屋外広告物追放クリーン作戦の参加団体数	団体	27	25	25										団体 30

No.	取り組みのあらましNo. 及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1	2 新都心整備推進事業	B	B	A										○
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	0	C	0	D	0					

【施策評価】

・新都心の整備推進を図る上で重要な指標となる大阪府有地の活用については、平成24年度に府営春宮住宅西側の土地が保育用地として本市に売却されましたが、供用開始は平成26年秋頃の予定となっています。

・府営春宮住宅北側の府有地については、大阪モノレール南伸の事業化に向けた動きを見据え、その活用は平成27年度以降となりました。

【今後の施策の進め方】

・流通業務団地、地区の再整備や大阪モノレール南伸が事業化した場合の新駅周辺整備などを柱として、新都心の新たな将来像を描き、新都心の活性化を図っていきます。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況の評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	都市整備部
部局長名	中西 章三

第5部 第28節 安全で快適な市街地のあるまち

【基本方針】

都市や各地域の拠点が整備され、優れた都市空間が形成された、安全で快適な市街地のあるまちをつくります。

そのため、市民の意見を反映し、都市づくりの方針をつくります。また、都市の拠点づくりなどを進め、まちを活性化させます。さらに、市民や事業者などの理解と協力の下、まちづくりへの啓発や指導を強化します。

【取り組みのあらまし】

- 1 幅広い視点から総合的な都市づくりを行います 5
- 2 都市拠点などを整備し、まちを活性化させます 6
- 3 優れた都市空間を形成します 7
- 4 8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 安全で快適な市街地のあるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			27.8									UP
2 総合設計制度によって、設けられた公開空地の累計面積	m ²	6,562	6,562	6,562									UP
3 違法簡易屋外広告物追放クリーン作戦の参加団体数	団体	27	25	25									団体 30

No.	取り組みのあらましNo. 及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 都市計画の基本的方針見直し検討調査	A	A										
2	1 準防火地域指定見直し検討調査	D	D	D									
3	1 都市計画道路見直し検討調査			A									
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	0	C	0	D	1				

【施策評価】

都市の骨格を形成する都市計画道路については、道路交通量の減少など社会経済状況の変化に対応するため、その必要性、実現性を総合的に判断し、計画の見直し素案を作成しました。地元説明会の開催など見直しの作業は、当初の予定より前倒しで進捗しています。

大規模地震の発生の危険性が高まっている中、市街地の火災の延焼防止を図るための準防火地域の指定見直しについては、施策に対する市民の理解が不可欠であるため、意識調査、啓発活動を実施しました。

【今後の施策の進め方】

都市計画道路の見直しについては、関連する都市計画と併せて、平成26年8月頃に変更が実施できるように必要な手続きを進めます。

また、準防火地域の指定見直しについては、平成26年度において拡大に伴う課題を整理し、指定の方針を策定します。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	都市整備部
部局長名	中西 章三

第5部 第29節 水と緑に親しめるまち

【基本方針】

生活に潤いと安らぎを与え、人と人が触れ合える場として、水と緑に親しめるまちをつくります。
 そのため、都市空間に新たな緑の空間づくりを進めることで、目に映る緑を増やすとともに、だれもが使いやすい公園や遊歩道など、水と緑の空間の整備を進めます。また、生駒山や市街地の水と緑を守る取り組みを進めます。

【取り組みのあらまし】

- 1 新たな緑の空間を増やします 5
- 2 水や緑が豊かな、潤いのある生活空間をつくります 6
- 3 森林や公園緑地などの緑を保全します 7
- 4 8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 水と緑を生かしたまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			31.7									UP
2 緑化に取り組む団体数	団体	255	260	270									UP
3 市街化区域内の緑被率	%	6.8											% 7.4

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	2 景観形成調査事業	A	A	A									
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	0	C	0	D	0				

【施策評価】

景観形成については、庁内の検討組織である東大阪市都市環境改善プロジェクト推進会議を中心に検討を進め、良好な景観の形成を推進するための基本事項と景観法の施行に関して必要な事項を定めた景観条例を制定しました。

【今後の施策の進め方】

東大阪らしい都市景観の形成をめざし、本市の歴史や地域性を踏まえた景観計画の策定に向け、市民の意向を把握するとともに、新たに設けられた景観審議会などで検討を進めます。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	都市整備部
部局長名	中西 章三

第5部 第31節 安全で便利な交通機関や道路のあるまち

【基本方針】

だれもが、安全で支障なく目的地まで行くことができ、人や物の流れを円滑にすることで経済活動が盛んになるよう、安全で便利な交通機関や道路のあるまちをつくります。
 そのため、鉄道やモノレール、バスなどの公共交通機関や道路網の整備を進めます。また、駅や駅前交通広場などの人の集まる施設や場所を、だれもが使いやすいようにします。
 さらに、駐車場や駐輪場などの交通関連施設の整備を進めるとともに、交通マナーの向上に取り組みます。

【取り組みのあらまし】

- 1 公共交通の整備を一層進めます 5
- 2 使いやすく安全な道路を提供します 6
- 3 交通ルールを守り、だれもが安心して使える道路にします 7
- 4 8

指 標	単位	実 績 値										目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 安全で便利な交通機関や道路のあるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			42.4									UP
2 駅周辺の1日の放置自転車台数	台	1,262	912	777									台 2,600
3 都市計画道路の整備率	%	46.3	46.9	未									% 51.2

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo. 及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政 マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 大阪外環状線鉄道新駅設置事業	D	D	A									○
2	1 大阪外環状線鉄道建設事業	A	A	A									
3	1 近鉄奈良線連続立体交差事業	B	B	B									○
4	1 大阪外環状線連続立体交差事業	B	B	A									
5	2 街路整備事業（大阪瓢箪山線・八尾枚方線）	B	B	B									
6	2 街路整備事業（都市計画道路整備）	B	B	B									
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	3	B	3	C	0	D	0				

【施策評価】

公共交通の整備として連続立体交差事業に取り組んでいます。近鉄奈良線では、課題となっていた事業費は確保されましたが、上り線（難波方面行き）の高架切替えについては、工事工程を精査した結果、平成26年秋頃に実施されることになりました。
 大阪外環状線鉄道の新駅については、平成29年度末完成を目指し、鉄道事業法の手続き、必要な用地取得に向けた調査を予定通り行いました。
 街路の整備については、用地交渉が難航し、当初、目標としていた事業進捗には至りませんでした。

【今後の施策の進め方】

近鉄奈良線の上り線（難波方面行き）の高架切替後については、早期の3駅舎の完成に向け、事業費の確保に努めます。また、関連する大阪瓢箪山線については、未着手区間の早期事業化、現在事業中区間の整備にあわせた大阪中央環状線交差部の改良について大阪府に対して強く要望します。
 大阪外環状線鉄道の新駅設置については、事業が円滑に進むよう関係者間の連携を図るとともに周辺整備についても検討します。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況の評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	土木部
部局長名	小西 啓之

第4部 第23節 農業と農地空間を大切にすま

【基本方針】

安全で安心できる農産物の提供や地産地消、食育を通じて、都市農業を身近に感じ、農業と農地空間を大切にすまをつくりす。
 農業の持続と、都市の貴重な緑地である農地空間の保全のため、次世代の担い手を育成していくとともに、農業と農地空間の持つ公益的な役割をさらに発展、拡大すま。

【取り組みのあらし】

- 1 安全で新鮮な農産物を消費者に届けてす 5 有害鳥獣被害への対策を進めてす
- 2 東大阪市の特産物を地域ブランドとして発信す 6
- 3 農業と農地空間の担い手を育てす 7
- 4 農地空間の持つ価値や機能を生かす 8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 農業と農地空間を大切にすまづくりが進められてると思ふ市民の割合	%			22.8									UP
2 農地面積	ha	242	242	239									ha 258
3 大阪府が認定したエコ農業者数	人	143	161	180									人 100

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらしNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	4 五個水路改修事業	A	B	A									
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	0	C	0	D	0				

【施策評価】

地域住民の事業に対する協力が得られ、目標が達成できた。

【今後の施策の進め方】

平成26年度についても引き続き整備事業に対する住民の理解と協力等を求めるため、事業説明に努める。
 ※五個改修事業については、平成26年度で完成予定。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できてると思ふすか			
① とても 思ふす	② 思ふす	③ 思ふすない	④ まったく 思ふすない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	土木部
部局長名	小西 啓之

第5部 第27節 危機や災害への備えが万全なまち

【基本方針】

危機や災害は突然やってくる。いざという時に市民の生命や体、財産を守り、被害を最小限にとどめ、早期の復旧を行うため、また、避難生活を少しでも安定して過ごせるよう、日ごろからの備えが万全なまちにします。

そのため、さまざまな事態を想定した危機管理体制を整備します。また、市民の自主的な活動を支援することで地域の安全を守るようにします。

さらに、消防力の強化、防災拠点の整備、都市基盤の整備や耐震化などにより、災害に強い住まいとまちづくりを進めます。

【取り組みのあらまし】

1 危機管理体制を整えて、いざという時に備えます	5 水害や土砂災害からまちを守ります
2 地域における防災・防火・防犯に向けて取り組みます	6 国民保護体制を整えて、万一来襲に備えます
3 消防力を強化し、市民生活を守ります	7
4 都市基盤の耐震化、避難所整備を進めます	8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 危機や災害への備えが万全なまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			30.5									UP
2 雨水増補管の整備率	%	77.0	79.7	80.0									% 92.0
3 市庁舎、保健所などの市の防災関連建築物の耐震化率	%	88.1	88.3	89.0									% 100

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
1	5 都市基盤河川改修事業(大川)	B	B	B								
2	5 貯留浸透事業	A	A	A								○
3	5 急傾斜地崩落危険箇所等パトロール事業			A								○
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
平成25年度目標達成度別事業数		A	2	B	1	C	0	D	0			

【施策評価】

貯留浸透事業については、目標が達成できた。
都市基盤河川改修事業については、目標が達成できなかった。

【今後の施策の進め方】

いずれの事業についても、引き続き地域住民の理解と協力等が得られるよう調整し進めていく。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
①

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	土木部
部局長名	小西 啓之

第5部 第28節 安全で快適な市街地のあるまち

【基本方針】

都市や各地域の拠点が整備され、優れた都市空間が形成された、安全で快適な市街地のあるまちをつくりまします。

そのため、市民の意見を反映し、都市づくりの方針をつくりまします。また、都市の拠点づくりなどを進め、まちを活性化させまします。さらに、市民や事業者などの理解と協力の下、まちづくりへの啓発や指導を強化しまします。

【取り組みのあらまし】

- 1 幅広い視点から総合的な都市づくりを行います 5
- 2 都市拠点などを整備し、まちを活性化させまします 6
- 3 優れた都市空間を形成しまします 7
- 4 8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 安全で快適な市街地のあるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			27.8									UP
2 総合設計制度によって、設けられた公開空地の累計面積	m ²	6,562	6,562	6,562									UP
3 違法簡易屋外広告物追放クリーン作戦の参加団体数	団体	27	25	25									団体 30

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	3 違法屋外広告物除却事業	A	A	A									
2	3 法定外公共物管理委託業務	D	D										
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	0	C	0	D	0				

【施策評価】

まちの景観を阻害する違法簡易屋外広告物を、市民（追放推進団体：街をきれいにしていき隊）と行政（市職員等）が協働して除却し、まちの景観向上と市民の安全を図るものであり、25年9月1日に違法屋外広告物追放クリーン作戦を予定したが台風第15号の影響により中止となるが、事前回答では25団体の参加意向の確認を取っていた。

【今後の施策の進め方】

屋外広告美化旬間に伴う違法簡易屋外広告物追放クリーン作戦の定例会をめざし、推進団体が日常的に活動できるようにサポートし、官民協働活動の充実を図る。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	土木部
部局長名	小西 啓之

第5部 第29節 水と緑に親しめるまち

【基本方針】

生活に潤いと安らぎを与え、人と人が触れ合える場として、水と緑に親しめるまちをつくります。そのため、都市空間に新たな緑の空間づくりを進めることで、目に映る緑を増やすとともに、だれもが使いやすい公園や遊歩道など、水と緑の空間の整備を進めます。また、生駒山や市街地の水と緑を守る取り組みを進めます。

【取り組みのあらまし】

- 1 新たな緑の空間を増やします 5
- 2 水や緑が豊かな、潤いのある生活空間をつくります 6
- 3 森林や公園緑地などの緑を保全します 7
- 4 8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 水と緑を生かしたまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			31.7									▲	UP
2 緑化に取り組む団体数	団体	257	260	270									▲	UP
3 市街化区域内の緑被率	%	6.8											▲	% 7.4

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
1	1 花とみどりいっぱい運動	A	A	B								
2	1 東大阪市植樹祭	A	B	A								
3	1 民有地緑化助成事業	A	A									
4	1 駅前等公共施設緑化事業	A	A	A								
5	2 公園緑化推進事業	A	A	A								
6	2 公園整備事業	A	B	B								○
7	2 緑化ボランティアキャラバン			A								○
8	3 公園愛護会活動支援事業	A	A	A								○
9	3 緑化ボランティア育成事業	B	B	A								○
10												
平成25年度目標達成度別事業数		A	6	B	2	C	0	D	0			

【施策評価】

公園の緑化の推進は植栽本数を指標とし、目標の500本以上を植樹している。公園の日常的な管理に取り組む公園愛護会を地域の方に結成していただくことを指標とし、目標より13団体多い239団体が結成されている。また公園整備事業については開設面積が増加しているものの用地買収が難航しているところもあり、継続的な公園整備を進めるためにも引き続き用地買収交渉を続けていく必要がある。

【今後の施策の進め方】

公園の緑化の推進については引き続き植栽して緑被率を上げていく、公園愛護会のない公園について、地域に結成するよう呼びかけて、愛護会を結成してもらおう。また種々制度の検討を行いながら引き続き用地買収事業を進めると共に、開設面積を増やすべく買収済み用地の整備を行う。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	土木部
部局長名	小西敬之

第5部 第31節 安全で便利な交通機関や道路のあるまち

【基本方針】

だれもが、安全で支障なく目的地まで行くことができ、人や物の流れを円滑にすることで経済活動が盛んになるよう、安全で便利な交通機関や道路のあるまちをつくります。

そのため、鉄道やモノレール、バスなどの公共交通機関や道路網の整備を進めます。また、駅や駅前交通広場などの人の集まる施設や場所を、だれもが使いやすいようにします。

さらに、駐車場や駐輪場などの交通関連施設の整備を進めるとともに、交通マナーの向上に取り組みます。

【取り組みのあらまし】

- 1 公共交通の整備を一層進めます 5
- 2 使いやすく安全な道路を提供します 6
- 3 交通ルールを守り、だれもが安心して使える道路にします 7
- 4 8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 安全で便利な交通機関や道路のあるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			42.4										UP
2 駅周辺の1日の放置自転車台数	台	1,262	912	777										台 2,600
3 都市計画道路の整備率	%		46.9	未										% 51.2

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1	1 公共交通等の移動手段の調査検討	D	D	D										○
2	2 道路新設改良事業	C	B	B										○
3	2 道路舗装事業	A	B	B										
4	2 橋りょう修繕・補強事業	A	A	C										
5	2 橋りょう長寿命化修繕計画	A	A											
6	2 自転車駐車場整備事業	A	A											
7	2 放置自転車防止事業	A	A	A										
8	2 パブリックアート整備事業	A	A											
9	3 自転車マナー啓発活動			A										○
10	3 違法駐車等防止活動	A	A	B										
平成25年度目標達成度別事業数		A	4	B	3	C	1	D	1					

【施策評価】

施策を通して交通安全に関する意識が浸透し、成果につながっていると思われる。

【今後の施策の進め方】

引き続き自転車駐車場の整備を進めて放置自転車対策に努め、これを交通面での安全にもつなげていきたい。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	土木部
部局長名	小西敬之

第5部 第31節 安全で便利な交通機関や道路のあるまち

【基本方針】

だれもが、安全で支障なく目的地まで行くことができ、人や物の流れを円滑にすることで経済活動が盛んになるよう、安全で便利な交通機関や道路のあるまちをつくります。

そのため、鉄道やモノレール、バスなどの公共交通機関や道路網の整備を進めます。また、駅や駅前交通広場などの人の集まる施設や場所を、だれもが使いやすいようにします。

さらに、駐車場や駐輪場などの交通関連施設の整備を進めるとともに、交通マナーの向上に取り組みます。

【取り組みのあらまし】

- 1 公共交通の整備を一層進めます 5
- 2 使いやすく安全な道路を提供します 6
- 3 交通ルールを守り、だれもが安心して使える道路にします 7
- 4 8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 安全で便利な交通機関や道路のあるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			42.4										UP
2 駅周辺の1日の放置自転車台数	台	1,262	912	777										台 2,600
3 都市計画道路の整備率	%		46.9	未										% 51.2

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	3 交通安全施設整備事業	B	B	A									○
2	3 交通安全運動推進事業	D	A	A									
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A		B		C		D					

【施策評価】

【今後の施策の進め方】

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	建築部
部局長名	藤田 功

第2部 第10節 学校・家庭・地域が一緒になって子どもを育むまち

【基本方針】

本市の未来を担う子どもたちの健康や学力、豊かな人権感覚、主体性や調和のとれた人間性を育み、子どもたちの人格の完成をめざします。
 そのため、教職員の資質や能力の向上、教育環境の整備、安全な学校園づくりに努めるとともに、子どもたちがすくすく育つ環境づくりのため、地域や家庭の教育力を活性化し、学校園と連携して教育に取り組みます。

【取り組みのあらまし】

- 1 知・徳・体のバランスのとれた子どもを育みます 5
- 2 教育の質を向上させ、教育条件を整えます 6
- 3 子どもが安心して学校に通えるようにします 7
- 4 地域全体で子どもを育みます 8

指 標	単 位	実 績 値											目 標 値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 学校・家庭・地域が一緒になって子どもを育むまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			37.1									UP
2 朝食を取っている児童・生徒の割合（上段：小6・下段：中3）	%	92.5 86.3	93.8 85.7	94.4 89.4									% 95.0
3 「愛ガード運動」の協力員数	人	16,262	15,128	13,013									人 18,000

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	3 小中学校耐震化事業	B	A	A									○
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	0	C	0	D	0				

【施策評価】

建築営繕室では、子供たちが安心して学校に通うことが出来るよう小・中学校校舎耐震化事業を平成27年度末に100%完了する事を目指し、事業のスピードアップを図る為、耐震化特別チームを平成24年4月に設置し、工事施工・監理だけでなく、事業計画、各種事務手続き等もそのチームで行い、学校調整等は教育総務部施設整備課と連携して推進してきた。また、児童・生徒及び学校や地域住民・学校利用者への負担軽減と事業スピードを上げる為、平成25年度から学校単位での校舎耐震補強工事を行っている。その結果、喫緊の課題である小・中学校校舎の耐震化事業においては、27年度までの年度スケジュールに遅れることなく当該事業の円滑な推進が図られた

【今後の施策の進め方】

建築営繕室耐震化特別チームでは、平成26年度以降も引き続き、子供たちが安心して学校に通うことが出来るよう小中学校の耐震化事業を学校園や関係部局と十分な連携・協議を行って進めていき、平成27年度に100%完了を目指す。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況の評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
①

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	建築部
部局長名	藤田 功

第5部 第27節 危機や災害への備えが万全なまち

【基本方針】

危機や災害は突然やってくる。いざという時に市民の生命や体、財産を守り、被害を最小限にとどめ、早期の復旧を行うため、また、避難生活を少しでも安定して過ごせるよう、日ごろからの備えが万全なまちにします。

そのため、さまざまな事態を想定した危機管理体制を整備します。また、市民の自主的な活動を支援することで地域の安全を守るようにします。

さらに、消防力の強化、防災拠点の整備、都市基盤の整備や耐震化などにより、災害に強い住まいとまちづくりを進めます。

【取り組みのあらまし】

1 危機管理体制を整えて、いざという時に備えます	5 水害や土砂災害からまちを守ります
2 地域における防災・防火・防犯に向けて取り組みます	6 国民保護体制を整えて、万一来襲に備えます
3 消防力を強化し、市民生活を守ります	7
4 都市基盤の耐震化、避難所整備を進めます	8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 危機や災害への備えが万全なまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			30.5									UP
2 雨水増補管の整備率	%	77	79.7	80.0									% 92.0
3 市庁舎、保健所などの市の防災関連建築物の耐震化率	%	88.1	88.3	89.0									% 100

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	4 市有建築物の計画的な耐震化促進	A	C	A									○
2	4 小中学校耐震化事業	B	A	A									○
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	2	B	0	C	0	D	0				

【施策評価】

西保健センターの耐震化工事が完了し、グリーンガーデンひらおか2棟及び保育所8施設19棟の耐震診断を行った。

【今後の施策の進め方】

足代・若江・中新開出張所の耐震化工事及び西消防署建替工事を実施及び 未診断施設の耐震診断実施。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況の評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
①

部局名	建築部
部局長名	藤田 功

第 5 部 良好な住まいのあるまち
第 30 節

【基本方針】

安らげる住まいがあることで、安定した生活を送ることができるよう、だれもが安全な住宅に安心して暮らせるまちをつくります。

そのため、市営住宅における良好な住環境の提供に努めるとともに、被災や障害、低所得などの理由で住宅に困っている人に対し、公的住宅に求められる役割を果たせるよう整備や活用を進めます。また、超高齢社会や耐震化などに対応できる良好な民間住宅を増やします。さらに、安全で快適な住環境を地域全体でつくるために取り組みます。

【取り組みのあらまし】

- 1 安全・安心で快適な公的住宅を整備します 5
- 2 良好な民間住宅を増やします 6
- 3 より安全で快適な居住環境づくりを進めます 7
- 4 8

指 標	単位	実 績 値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 良好な住まいのあるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			27.5										UP
2 耐震診断の補助制度を利用した民間住宅の戸数	戸	246	222	276										UP
3 市営住宅に占める木造住宅等の割合	%	24	24	22										% 0.0

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo. 及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政 マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1	1 市営住宅整備事業（住宅政策課所管）	A	A	A										○
2	1 市営住宅整備事業（住宅改良室所管）	C	C	A										○
3	2 高齢者向優良賃貸住宅供給促進事業	D												
4	2 震災対策推進事業	A	C	C										○
5	2 民間建築物吹付けアスベスト等分析調査補助事業	D	D											
6	3 まちづくり基本構想推進経費	A	A	C										
7	3 若江・岩田・瓜生堂密集住宅市街地整備促進事業	B	B	B										
8														
9														
10														
平成25年度目標達成度別事業数		A	2	B	1	C	2	D	0					

【施策評価】○住宅政策課所管分の市営住宅については、若い世代の期限付き入居の拡大促進のため、建替住宅（2DK以上）15戸に対して、期限付き枠5戸を設定し、3割以上の入居を確保し達成した。○住宅改良室所管の市営住宅については、住宅全体の老朽化が進んでいるため整備項目が多くなっている。一般補修戸数に関しては指標目標の52戸に対して、実績が43戸の低い達成率にとどまっている。○震災対策推進事業は、市政だより、自治会耐震セミナー、大規模小売店舗、公共交通機関などの啓発活動により、耐震化のさらなる周知を図った。その結果、木造住宅の耐震診断補助及び耐震診断員派遣は276戸、耐震設計補助は22戸という過去最高の実績を残した。

【今後の施策の進め方】○住宅政策課所管分の市営住宅については、旧耐震基準で建設された住宅の建替更新を進め、引き続き低所得者向けの居住の安定を図り、安全で良好な住宅の提供に努める。また、今後はさらに木造市営住宅の解消に向けて建て替えを進める。○住宅改良室所管の市営住宅は住宅全体の老朽化が進んでおり、2団地とも建替え事業に着手しており、事業費が増大している。そのため、一戸当たりの改修費のコスト縮減を図り補修戸数を増やしていく必要がある。○震災対策推進事業は、改修工事時の耐震改修制度横断幕設置や以前耐震診断を受けられた市民の方を対象とした耐震勉強会を通じ、診断から改修へ安心して臨める環境づくりを拡大する。また耐震のスタートである、耐震診断の更なる周知を拡大していく為、耐震化メニューチラシの全戸回覧等による周知を増やすと共に、大規模小売店舗等と連携したPR活動を進めていく。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	建築部
部局長名	藤田 功

第5部 第32節 良好な環境を次代に引き継ぐまち

【基本方針】

生活のあらゆる活動を原因とする環境負荷により、地球温暖化が進む中、私たち一人ひとりが環境負荷のより少ない行動を取ることで、次の世代へ良好な環境を引き継ぎます。

そのため、地球温暖化対策などの環境施策を総合的に進め、市民や事業者などがそれぞれの立場で環境保全活動に取り組みます。また、環境負荷の少ない循環型のまちをめざし、ごみの減量やリサイクルを一層進め、ごみの適正処理に努めるとともに、まちの美化を進めます。さらに、都市の発展によって発生するごみや、し尿の適正処理、公害の未然防止に取り組みます。

【取り組みのあらまし】

1 総合的な環境施策を進めます	5 ごみや、し尿の適正処理を行います
2 地球温暖化問題を市民と共に考えます	6 公害の防止などに取り組みます
3 ごみの減量・リサイクルによって、循環型社会をつくります	7
4 不法投棄を防止し、まちの美化を進めます	8

指標	単位	実績値										目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 良好な環境を次代に引き継ぐまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			27.1									UP
2 不法投棄の処理件数	件	3,560	2,810	2,201									DOWN
3 市域の温室効果ガス総排出量(二酸化炭素換算)	万 t-CO2	262	未	未									DOWN

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 公共施設の省エネルギー・リサイクル化事業			A									○
2	1 漏水無くし隊活動			B									○
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	1	C	0	D	0				

【施策評価】

○公共施設の省エネルギー・リサイクル推進
 建築営繕室では、平成25年度の、照明器具、空調機器、受変電機器の設計において全て省エネルギー機器を採用しました。

○漏水無くし隊活動
 平成25年度は、24回の調査目標に対し21回の調査実施となりました。(達成率87.5%)平成25年度において、中学校26校全ての調査を終了しました。

【今後の施策の進め方】

○公共施設の省エネルギー・リサイクル推進
 東日本大震災を契機にひっ迫した電力供給に対応するために官民あげて省エネルギーに対する取組が求められています。建築営繕室では、今後も継続して積極的な省エネルギー機器の採用を行います。

○漏水無くし隊活動
 平成25年度までに、全ての小中学校(小学校54校、中学校26校)の調査を終了したが、再度、水道使用量を確認し、使用量がまだ多い学校について再調査を行う。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況の評価してください

施策が実現できていると思いますか				施策実現状況の評価
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない	
				①

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	建築部
部局長名	藤田 功

行財政編 効率的で健全な行財政運営が行われるまち

【基本方針】

地方自治体の基本的な役割である「住民の福祉の増進」を果たしていくためには、市の将来を見越し、社会経済情勢の変化などにも十分に対応ができる「強い自治体」となることが必要です。そのため、市民ニーズや社会情勢などに対応できる体制づくりや、職員の能力向上、財政基盤の強化、業務の電子化などを進めることにより、効率的かつ健全な行財政運営が行われるまちにします。

【取り組みのあらまし】

- 1 将来を見越した行財政改革に取り組みます 5
- 2 これからの行政運営を担う人材を確保し、育成、活用します 6
- 3 歳入を確保し、市役所の財政力を向上させます 7
- 4 市役所の電子化を進め、市民の利便性や事務の効率を向上させます 8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 効率的で健全な行財政運営が進められていると思う市民の割合	%			22.2									UP
2													
3													

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 公共施設の保全計画の策定	A	A	A									
2	3 未収金解消事業（住宅政策課）			A									○
3	3 未収金解消事業（住宅改良室）			A									○
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	3	B	0	C	0	D	0				

【施策評価】

○平成27年度の保全計画策定に向け構築した保全システムをシステムアップ等している。
 ○住宅政策課所管の市営住宅における平成25年度分の使用料徴収率は96.6%であり、目標は達成したところではあるが、さらなる未収金の解消に努めるとともに、新たな未収金発生を抑制していく必要がある。
 ○住宅改良室所管の市営住宅の使用料の未収金の滞納対策については、3ヶ月ごとの催促、戸別訪問指導、長期滞納者に対する明渡訴訟提起などを継続的に実施し未収金の徴収を図っており、平成25年度は現年度収納率は約90%と目標に達している。

【今後の施策の進め方】

○各施設所管課及び施設管理者に保全を周知してもらい、対象施設や対象規模の検討を行う。
 ○住宅政策課所管の市営住宅の使用料の未収金の滞納対策については、使用料の納入方法に口座振替やコンビニ収納を行えるよう、関係機関と協議を行う。
 ○住宅改良室所管の市営住宅の使用料の未収金の滞納対策については、3ヶ月ごとの催促、戸別訪問指導、長期滞納者に対する明渡訴訟提起などを継続的に実施しながら、今後は滞納者に対する明渡訴訟の拡充や、徴収事務の専門知識を有する職員の配置を求めるなど滞納対策の体制強化を図る。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
①

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	消防局
部局長名	北口 悦司

第5部 第27節 危機や災害への備えが万全なまち

【基本方針】

危機や災害は突然やってくる。いざという時に市民の生命や体、財産を守り、被害を最小限にとどめ、早期の復旧を行うため、また、避難生活を少しでも安定して過ごせるよう、日ごろからの備えが万全なまちにします。

そのため、さまざまな事態を想定した危機管理体制を整備します。また、市民の自主的な活動を支援することで地域の安全を守るようにします。

さらに、消防力の強化、防災拠点の整備、都市基盤の整備や耐震化などにより、災害に強い住まいとまちづくりを進めます。

【取り組みのあらまし】

1 危機管理体制を整えて、いざという時に備えます	5 水害や土砂災害からまちを守ります
2 地域における防災・防火・防犯に向けて取り組みます	6 国民保護体制を整えて、万一来襲に備えます
3 消防力を強化し、市民生活を守ります	7
4 都市基盤の耐震化、避難所整備を進めます	8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 危機や災害への備えが万全なまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			30.5										UP
2 雨水増補管の整備率	%	77.0	79.7	80.0										% 92.0
3 市庁舎、保健所などの市の防災関連建築物の耐震化率	%	88.1	88.3	89.0										% 100

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1	3 消防出張所耐震化整備事業	A	A	A										○
2	3 消防署建替え事業	D	A	A										○
3	3 出張所移転・建替え事業	A	A	A										○
4	3 震災対策事業			A										○
5	3 消防団車両整備事業	A	A	—										
6	3 消防団屯所整備事業	C	C	A										
7	3 救急隊整備事業			A										
8	3 救急救命士養成・高度化事業	A	A	A										
9	3 消防車両整備事業	A	A	A										
10	3 高規格救急車整備事業	A	A	A										
平成25年度目標達成度別事業数		A	12	B	0	C	0	D	0					

【施策評価】

防災活動拠点の整備については、西消防署の建替え、消防団屯所の整備など、事業を順調に進めることができた。また、耐震性を有していない出張所（若江出張所、中新開出張所及び足代出張所）については、耐震化の手法を決定するなど、平成27年度末までの防災活動拠点としての耐震化に向けて、一定の方向性を示すことができた。

なお、消防力の強化については、消防車両の整備等のハード面、救急救命士の養成・高度化のソフト面とともに、計画通り整備・養成するなど、消防局の事業全般にわたり目標を達成することができた。

【今後の施策の進め方】

西消防署の建替えについては、平成25年度に実施した基本実施設計を基に今年度から建設工事に着手していく。また、耐震性を有していない出張所（若江出張所、中新開出張所及び足代出張所）については、耐震改修に係る設計を実施するなど、平成27年度末までに耐震化できるよう計画通りに事業を進めていく。

なお、救急隊の整備については、現在の救急需要における本市の救急体制を検証していく。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況の評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
①

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	消防局
部局長名	北口 悦司

第5部 第27節 危機や災害への備えが万全なまち

【基本方針】

危機や災害は突然やってくる。いざという時に市民の生命や体、財産を守り、被害を最小限にとどめ、早期の復旧を行うため、また、避難生活を少しでも安定して過ごせるよう、日ごろからの備えが万全なまちにします。

そのため、さまざまな事態を想定した危機管理体制を整備します。また、市民の自主的な活動を支援することで地域の安全を守るようにします。

さらに、消防力の強化、防災拠点の整備、都市基盤の整備や耐震化などにより、災害に強い住まいとまちづくりを進めます。

【取り組みのあらまし】

1 危機管理体制を整えて、いざという時に備えます	5 水害や土砂災害からまちを守ります
2 地域における防災・防火・防犯に向けて取り組みます	6 国民保護体制を整えて、万一来襲に備えます
3 消防力を強化し、市民生活を守ります	7
4 都市基盤の耐震化、避難所整備を進めます	8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 危機や災害への備えが万全なまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			30.5									UP
2 雨水増補管の整備率	%	77.0	79.7	80.0									% 92.0
3 市庁舎、保健所などの市の防災関連建築物の耐震化率	%	88.1	88.3	89.0									% 100

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo. 及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政 マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	3 小型動力ポンプ・林野火災用可搬ポンプ整備事業	A	A	A									
2	3 呼吸器整備事業	A	A	A									
3	3 消防救急無線デジタル化整備事業	A	A	A									
4	3 防火水槽整備事業	A	A										
5	3 消防局・中消防署庁舎整備事業	A	A										
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A		B		C		D					

【施策評価】

（この領域は斜線で塗りつぶされています）

【今後の施策の進め方】

（この領域は斜線で塗りつぶされています）

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
（この領域は斜線で塗りつぶされています）

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	上下水道局経営企画室
部局長名	森 克巳

第5部 第33節 上下水道によって安全・快適に暮らせるまち

【基本方針】

生きるために無くてはならない水を扱う上下水道は、市民の暮らしに欠かすことができません。そのため、日常生活だけでなく、災害時においても、市民生活に支障が生じないように、安全・安心で安定した上下水道サービスを提供することで、市民が安全・快適に暮らせるまちをつくります。

【取り組みのあらまし】

1 施設・設備の計画管理と老朽化対策を進めます	5 上下水道の知識や経験、技術を継承します
2 水の安定供給と排水処理施設の整備を進めます	6
3 川や海の水質を保全します	7
4 公営企業として、健全な財政運営を進めます	8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 上下水道によって安全・快適に暮らせるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			60.7									UP
2 水道管路の更新率	%	9.9	11.2	12.6									% 23.6
3 下水管路の更新率	%	10.6	9.6	8.6									% 20.0

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	4 上下水道庁舎整備の再検討	A											
2	4 上下水道庁舎の検討事業			A									○
3	4 上下水道業務の統合推進事業			A									○
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	2	B	0	C	0	D	0				

【施策評価】

平成25年4月の下水道事業への地方公営企業法の全部適用後、残課題である「業務統合」「庁舎問題」について、その解決を図るべく平成25年5月から局専門部会を再開し、「業務統合」について検討を進め総務業務の一部統合に向けた案を取りまとめた。また、「庁舎問題」については、計6回の専門部会を開催し庁舎建設候補地の絞り込みを行い、市の公共施設マネジメント推進会議等で意見聴取、更に市の業務統合推進委員会において候補地(案)が決定し、平成26年1月には、庁議において庁舎整備の方向性を決定するなど一定の到達を見た。

【今後の施策の進め方】

庁舎整備の方向性が決定したことを受けて、基本構想、基本計画を進めながら並行して議会への説明も行き、建設に向けて平成26年度中の設計着手を目指す。また、業務統合については、総務業務の一部統合の実現と同一庁舎入庁時に向けた検討を行う。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	水道施設部
部局長名	甲田 正一

第5部 第33節 上下水道によって安全・快適に暮らせるまち

【基本方針】

生きるために無くてはならない水を扱う上下水道は、市民の暮らしに欠かすことができません。そのため、日常生活だけでなく、災害時においても、市民生活に支障が生じないように、安全・安心で安定した上下水道サービスを提供することで、市民が安全・快適に暮らせるまちをつくります。

【取り組みのあらまし】

1 施設・設備の計画管理と老朽化対策を進めます	5 上下水道の知識や経験、技術を継承します
2 水の安定供給と排水処理施設の整備を進めます	6
3 川や海の水質を保全します	7
4 公営企業として、健全な財政運営を進めます	8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 上下水道によって安全・快適に暮らせるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			60.7									UP
2 水道管路の更新率	%	9.9	11.2	12.6									% 23.6
3 下水管路の更新率	%	10.6	9.6	8.6									% 20.0

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 第三次水道施設整備事業	A	A	A									
2	1 水道管路情報システム構築事業	A											
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	0	C	0	D	0				

【施策評価】

第三次水道施設整備事業において、水道管路更新率の目標値を達成したことにより、管路の耐震化が進み、経年管の増加を抑制する事ができ、地震などの災害に対する安全性の向上が図れた。

【今後の施策の進め方】

第三次水道施設整備事業の計画を推進していく上で、水道管路情報システムを利用し、優先順位や事業効果を考えた効率的・効果的な管路の更新等に取り組み、経年管の増加の抑制や、地震などの災害に対する安全性を高め、安全・安心で安定した水道サービスの向上を目指す。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	下水道部
部局長名	葉田 晃三

第5部 第27節 危機や災害への備えが万全なまち

【基本方針】

危機や災害は突然やってくる。いざという時に市民の生命や体、財産を守り、被害を最小限にとどめ、早期の復旧を行うため、また、避難生活を少しでも安定して過ごせるよう、日ごろからの備えが万全なまちにします。

そのため、さまざまな事態を想定した危機管理体制を整備します。また、市民の自主的な活動を支援することで地域の安全を守るようにします。

さらに、消防力の強化、防災拠点の整備、都市基盤の整備や耐震化などにより、災害に強い住まいとまちづくりを進めます。

【取り組みのあらまし】

1 危機管理体制を整えて、いざという時に備えます	5 水害や土砂災害からまちを守ります
2 地域における防災・防火・防犯に向けて取り組みます	6 国民保護体制を整えて、万一来襲に備えます
3 消防力を強化し、市民生活を守ります	7
4 都市基盤の耐震化、避難所整備を進めます	8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 危機や災害への備えが万全なまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			30.5										UP
2 雨水増補管の整備率	%	77.0	79.7	80.0										% 92.0
3 市庁舎、保健所などの市の防災関連建築物の耐震化率	%	88.1	88.3	89.0										% 100

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1	5 雨水増補管事業	A	B	A										○
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	0	C	0	D	0					

【施策評価】

浸水被害対策として新大蓮北幹線（100m）を施工し、雨水増補管の整備率は概ね目標を達成した。

【今後の施策の進め方】

施策の必要性や重要性を地域にPRしながら、残りの計画路線の整備を進め、浸水被害対策を図っていく。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	下水道部
部局長名	葉田 晃三

第5部 第32節 良好な環境を次代に引き継ぐまち

【基本方針】

生活のあらゆる活動を原因とする環境負荷により、地球温暖化が進む中、私たち一人ひとりが環境負荷のより少ない行動を取ることで、次の世代へ良好な環境を引き継ぎます。

そのため、地球温暖化対策などの環境施策を総合的に進め、市民や事業者などがそれぞれの立場で環境保全活動に取り組みます。また、環境負荷の少ない循環型のまちをめざし、ごみの減量やリサイクルを一層進め、ごみの適正処理に努めるとともに、まちの美化を進めます。さらに、都市の発展によって発生するごみや、し尿の適正処理、公害の未然防止に取り組みます。

【取り組みのあらまし】

1 総合的な環境施策を進めます	5 ごみや、し尿の適正処理を行います
2 地球温暖化問題を市民と共に考えます	6 公害の防止などに取り組みます
3 ごみの減量・リサイクルによって、循環型社会をつくります	7
4 不法投棄を防止し、まちの美化を進めます	8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 良好な環境を次代に引き継ぐまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			27.1										UP
2 不法投棄の処理件数	件	3,560	2,810	2,201										DOWN
3 市域の温室効果ガス総排出量(二酸化炭素換算)	万t-CO2	262	未	未										DOWN

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1	1 高度処理水の活用			A										○
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	0	C	0	D	0					

【施策評価】

高度処理水の活用について、ウェブサイト及び掲示物にてPRを行った。また、市内小学校3校にて出前講座を実施し、PR活動を行った。

【今後の施策の進め方】

事業に対する理解の浸透を図るため、継続的にPR活動を行っていく。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
①

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	下水道部
部局長名	葉田 晃三

第5部 第33節 上下水道によって安全・快適に暮らせるまち

【基本方針】

生きるために無くてはならない水を扱う上下水道は、市民の暮らしに欠かすことができません。そのため、日常生活だけでなく、災害時においても、市民生活に支障が生じないよう、安全・安心で安定した上下水道サービスを提供することで、市民が安全・快適に暮らせるまちをつくります。

【取り組みのあらまし】

1 施設・設備の計画管理と老朽化対策を進めます	5 上下水道の知識や経験、技術を継承します
2 水の安定供給と排水処理施設の整備を進めます	6
3 川や海の水質を保全します	7
4 公営企業として、健全な財政運営を進めます	8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 上下水道によって安全・快適に暮らせるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			60.7									UP
2 水道管路の更新率	%	9.9	11.2	12.6									% 23.6
3 下水管路の更新率	%	10.6	9.6	8.6									% 20.0

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 改築更新事業	A	A	B									
2	2 流域下水道事業の促進	D	D	B									
3	3 公共下水道事業の推進	A	A	B									
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	0	B	3	C	0	D	0				

【施策評価】

老朽化施設の再構築を効率的に進めるため、長寿命化計画（ポンプ場）および総合地震対策計画（管きょ）を策定した。

合流式下水道改善事業として、高井田雨水貯留施設の築造（～H26）や、岸田堂地区の幹線築造（～H26）および岸田堂ポンプ場の汚水ポンプの増強を行った。

【今後の施策の進め方】

平成25年度に策定した事業計画に基づき、老朽化施設の再構築を実施する。大阪府の事業である流域下水道事業については、その早期の整備について要望を行っていく。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	総合病院事務局
部局長名	築山 秀次

第3部 第14節 安心して医療を受けられるまち

【基本方針】

命を守る保健・医療は、地域にとって掛け替えのないものです。保健・医療の関係機関だけでなく、患者や家族など市民みんなで医療を支え、市民が自らの状態に合った安全・安心な医療を受けることができるまちをつくります。そのため、医療の質を確保するとともに、近隣市との連携による救急の広域化や地域間での医療施設の連携、安心できる診療体制の構築を進めます。また、医療機関の適正な利用や薬の使用方法について、市民の理解を深めます。

【取り組みのあらまし】

1 地域の医療関係機関の連携によって医療体制を整備します	5 医療相談窓口を充実させます
2 医療機関の適正な利用を進めます	6 薬についての健康教育を拡充します
3 医療機関などへの検査や指導をより充実させます	7
4 市立総合病院の設備や機能を充実させます	8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 安心して医療が受けられるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			44.9									UP
2 病院への立ち入り検査で適合した項目の割合	%	98.1	98.0	98.0									% 100
3 薬健康教育や薬物乱用防止講習の延べ参加者数	人	5,762	7,373	7,962									UP

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	4 高度医療機器整備事業	A	A										
2	4 総合病院増改築事業	A	A										
3	4 中河内救命救急センターとの連携強化			A									○
4	4 がん診療の充実			A									
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	2	B	0	C	0	D	0				

【施策評価】

中河内救命救急センターとの連携強化については、3回の訓練実施の他にも毎月、定期的に合同で災害部会を開催している。また、手術応援等の医師の交流も行った。
がん診療の充実については、緩和ケア病棟の準備委員会を立ち上げ検討を行っている。

【今後の施策の進め方】

平成26年度以降は、中河内救命救急センターとの一体的運営の検討をしていく。
平成27年秋を目途に、当院9階北病棟を緩和ケアに改修する。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	総合病院事務局
部局長名	築山 秀次

行財政編 効率的で健全な行財政運営が行われるまち

【基本方針】

地方自治体の基本的な役割である「住民の福祉の増進」を果たしていくためには、市の将来を見越し、社会経済情勢の変化などにも十分に対応ができる「強い自治体」となることが必要です。そのため、市民ニーズや社会情勢などに対応できる体制づくりや、職員の能力向上、財政基盤の強化、業務の電子化などを進めることにより、効率的かつ健全な行財政運営が行われるまちにします。

【取り組みのあらまし】

- 1 将来を見越した行財政改革に取り組みます 5
- 2 これからの行政運営を担う人材を確保し、育成、活用します 6
- 3 歳入を確保し、市役所の財政力を向上させます 7
- 4 市役所の電子化を進め、市民の利便性や事務の効率を向上させます 8

指標	単位	実績値										目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 効率的で健全な行財政運営が進められていると思う市民の割合	%			22.2									UP
2													
3													

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	3 診療費収益対策事業	A	A	A									○
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	0	C	0	D	0				

【施策評価】

診療費収納対策事業については、回収率99.5%（収入済額/調定額）と目標値と合致した。

【今後の施策の進め方】

診療費収納対策事業については、引き続き未収金の発生防止につとめ、発生した場合は関係職員間での情報の共有を図り、未収金の原因等を把握し督促を強化することで未収金の減少に努める。また、未収督促に対して誠意のない患者については、簡易裁判所を通じた支払い督促を行う。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	学校教育推進室
部局長名	植田 勝

第2部 第10節 学校・家庭・地域が一緒になって子どもを育むまち

【基本方針】

本市の未来を担う子どもたちの健康や学力、豊かな人権感覚、主体性や調和のとれた人間性を育み、子どもたちの人格の完成をめざします。

そのため、教職員の資質や能力の向上、教育環境の整備、安全な学校園づくりに努めるとともに、子どもたちがすくすく育つ環境づくりのため、地域や家庭の教育力を活性化し、学校園と連携して教育に取り組みます。

【取り組みのあらまし】

- 1 知・徳・体のバランスのとれた子どもを育みます 5
- 2 教育の質を向上させ、教育条件を整えます 6
- 3 子どもが安心して学校に通えるようにします 7
- 4 地域全体で子どもを育みます 8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 学校・家庭・地域が一緒になって子どもを育むまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			37.1										UP
2 朝食を取っている児童・生徒の割合(上段:小6・下段:中3)	%	92.5	93.8	94.4										% 95.0
3 「愛ガード運動」の協力員数	人	16,262	15,128	13,013										人 18,000

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1	1 学校園サポート事業	B	B	A										
2	1 英語教育推進事業	A	A	C									○	
3	1 学びのトライアル事業	A	A	B									○	
4	1 本物の文化芸術にふれる機会の拡大	B	B	B									○	
5	1 クラブ活動推進事業	B	B	B									○	
6	1 環境教育推進事業	B	B	C									○	
7	1 食育推進事業	A	A	A									○	
8	1 学校園教育支援協力者活動事業	A	A											
9	1 連携教育推進事業	A	A											
10	1 日新高等学校生徒短期交換留学	A	A											
平成25年度目標達成度別事業数		A	3	B	6	C	4	D	0					

【施策評価】

平成21年度から学力向上の柱として拡充された「学力向上対策学校支援事業」は平成22年度、平成23年度と学校の組織改革授、授業改善に一定の方向性、成果をもたらした。平成24年度よりその成果と課題から「子どもが自ら学ぶための『環境』『習慣』『授業』づくり」をテーマにあげ、受動的な『学び』から能動的な『学び』のスタイルづくりに発展させ、平成25年度は「学びのトライアル事業」として、小中の『学び』のスタンダードづくりの確立へ向け、より実践的な対応を推進することができた。また、1100名に及ぶ参加者で開催された「東大阪市教育フォーラム」では学力向上における家庭学習の重要性についても発信することができた。また、「学校園サポート事業」におけるスクールソーシャルワーカーの活用は拠点校を中心に学校園に福祉の観点を定着させることができています。

【今後の施策の進め方】

平成25年度からはじまった「学びのトライアル事業」においては、「子どもが自ら学ぶための『環境』『習慣』『授業』づくり」のテーマに基づく取り組みを継続しつつ、学校図書館の整備・充実をはじめとした学習環境づくりとともに学校図書館を活用した授業づくりを計画的に推進していく。それに家庭学習に関連して『学習の手引き』『自主学習ノート』を活用した学習習慣づくりなどより具体的な対策をおこなっていく。

また、全国学力・学習状況調査や本授業として学校に求めている児童・生徒・保護者アンケートの分析などからその成果と課題を明確にし、東大阪市教育フォーラムで本市の学力向上の取り組みについて広く保護者・市民に発信していく。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	学校教育推進室
部局長名	植田 勝

第2部 第10節 学校・家庭・地域が一緒になって子どもを育むまち

【基本方針】

本市の未来を担う子どもたちの健康や学力、豊かな人権感覚、主体性や調和のとれた人間性を育み、子どもたちの人格の完成をめざします。

そのため、教職員の資質や能力の向上、教育環境の整備、安全な学校園づくりに努めるとともに、子どもたちがすくすく育つ環境づくりのため、地域や家庭の教育力を活性化し、学校園と連携して教育に取り組みます。

【取り組みのあらまし】

- 1 知・徳・体のバランスのとれた子どもを育みます 5
- 2 教育の質を向上させ、教育条件を整えます 6
- 3 子どもが安心して学校に通えるようにします 7
- 4 地域全体で子どもを育みます 8

指標	単位	実績値										目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 学校・家庭・地域が一緒になって子どもを育むまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			37.1									UP
2 朝食を取っている児童・生徒の割合(上段:小6・下段:中3)	%	92.5 86.3	93.8 85.7	94.4 89.4									% 95.0
3 「愛ガード運動」の協力員数	人	16,262	15,128	13,013									人 18,000

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
11	1 キャリア教育の推進事業			B									
12	2 二期制の検証・実施	C	C										
13	2 教育情報化推進事業	B	B	C									
14	3 子ども安全安心推進事業	A	B	B								○	
15	3 特別支援教育推進事業	B	B	A								○	
16	3 いじめ防止対策事業	A	A	C								○	
17	3 児童虐待防止対策事業	A	A										
18	4 学校協議会の運営	A	A	B								○	
19													
20													
平成25年度目標達成度別事業数		A		B		C		D					

【施策評価】

【今後の施策の進め方】

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	学校教育推進室
部局長名	植田 勝

第5部 第32節 良好な環境を次代に引き継ぐまち

【基本方針】

生活のあらゆる活動を原因とする環境負荷により、地球温暖化が進む中、私たち一人ひとりが環境負荷のより少ない行動を取ることで、次の世代へ良好な環境を引き継ぎます。

そのため、地球温暖化対策などの環境施策を総合的に進め、市民や事業者などがそれぞれの立場で環境保全活動に取り組みます。また、環境負荷の少ない循環型のまちをめざし、ごみの減量やリサイクルを一層進め、ごみの適正処理に努めるとともに、まちの美化を進めます。さらに、都市の発展によって発生するごみや、し尿の適正処理、公害の未然防止に取り組みます。

【取り組みのあらまし】

1 総合的な環境施策を進めます	5 ごみや、し尿の適正処理を行います
2 地球温暖化問題を市民と共に考えます	6 公害の防止などに取り組みます
3 ごみの減量・リサイクルによって、循環型社会をつくります	7
4 不法投棄を防止し、まちの美化を進めます	8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 良好な環境を次代に引き継ぐまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			27.1										UP
2 不法投棄の処理件数	件	3,560	2,810	2,201										DOWN
3 市域の温室効果ガス総排出量 (二酸化炭素換算)	万t-CO2	262	-	-										DOWN

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo. 及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政 マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1	1 環境教育推進事業	B	B	C										○
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
平成25年度目標達成度別事業数		A	0	B	0	C	1	D	0					

【施策評価】

東大阪市学校教育基本目標・重点目標にも環境教育の推進を位置づけ、子どもたち自身が身近な地域の環境を見つめ直し、環境問題について考えを深めている。また、環境紙芝居「トライくんと水の妖精」書籍「ジュニア地球白書」「わたしたちの環境」デジタル教材「トライくんと一緒に環境について考えよう」を授業保育に取り入れ、本市環境部等の外部人材を活用しつつ環境教育の推進に努めた。

さらに「東大阪市豊かな環境創造基金」を活用し、環境推進校として小学校がビオトープや里山などをつくり、子どもたちが観察・発見を楽しむことのできる環境の整備をおこなった。中学校においては地域の中でクリーン作戦や環境に係わる関連教科により環境教育の理解を深めている。

【今後の施策の進め方】

環境教育をトライアルスクールの中に位置づけ、「東大阪市豊かな環境創造基金」を活用して、環境教育に係わる優れた授業実践が生まれるように重点的な支援をおこない、その成果を広く学校園に周知していく。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	教育センター
部局長名	植田 勝

第2部 第10節 学校・家庭・地域が一緒になって子どもを育むまち

【基本方針】
本市の未来を担う子どもたちの健康や学力、豊かな人権感覚、主体性や調和のとれた人間性を育み、子どもたちの人格の完成をめざします。
そのため、教職員の資質や能力の向上、教育環境の整備、安全な学校園づくりに努めるとともに、子どもたちがすくすく育つ環境づくりのため、地域や家庭の教育力を活性化し、学校園と連携して教育に取り組みます。

- 【取り組みのあらまし】
- 1 知・徳・体のバランスのとれた子どもを育みます 5
 - 2 教育の質を向上させ、教育条件を整えます 6
 - 3 子どもが安心して学校に通えるようにします 7
 - 4 地域全体で子どもを育みます 8

指 標	単 位	実 績 値										目 標 値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 学校・家庭・地域が一緒になって子どもを育むまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			37.1									UP
2 朝食を取っている児童・生徒の割合（上段：小6・下段：中3）	%	92.5 86.3	93.8 85.7	94.4 89.4									% 95.0
3 「愛ガード運動」の協力員数	人	16,262	15,128	13,013									人 18,000

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	2 教育情報化推進事業	B	B										
2	2 教職員研修・研究の充実	A	A	A									
3	3 教育相談・発達相談の充実	A	B	A								○	
4	3 教育支援センター（適応指導教室）事業	A	A	B									
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成24年度目標達成度別事業数		A	2	B	1	C	0	D	0				

【施策評価】
教職員研修においては、毎年150人近くの初任者を迎える状況下で、特に、経験年数の少ない教員の育成に向け、「授業力向上」と「子ども理解力」に焦点を当てて実施した。訪問指導の強化により、気になる教職員へのアプローチを継続的に実施することで、早期の離職予防の成果を得て学校園長から評価をいただいた。また、本市の「施設再編整備計画」移転計画に基づき、積極的に他府県市視察を実施した。教育関連資料を集積しているが、その活用方法については、今後の課題でもある。
教育相談としては障害のある子どもや、子どもの発達上の課題への対応のため、相談機能の充実をめざしているが、相談件数が、前年度を上回っている（来所相談5479回（教育相談2233回、発達相談3256回）、派遣相談4654回、電話相談396回）現有の相談員の人数・相談室の部屋数に比べて、来所相談の申し込みが多すぎて、実際の相談を受けるまでの間に、一ヶ月以上の待機が必要であった。
教育支援センター「適応指導教室」事業では、不登校の状態にある児童・生徒およびその家庭への支援を充実し学校復帰や社会的自立を図った。入室者26人のうち完全に学校へ復帰したもの3人、部分的に復帰したもの14人。中学3年生については全員の進路が決定し、進路保障はできた。しかし、「学力保障」という部分では十分な支援ができたとは言い難く、今後の課題を残している。

【今後の施策の進め方】
教育センター主催の「教職員研修」を魅力ある内容として実施すること、特に、経験年数の少ない教員の人材育成のため、OJT研修に係る校園内の研修体制の構築を支援し、研究活動の充実を継続して図っていく。また、図書システムを再構築し、教育資料の貸し出しを可能にするとともに、「教育資料室」を教職員にも開放できるよう努めていきたい。
来所相談が増加する一途ではあるが、今年度も引き続き「相談員」の資質を高めて相談機能の充実を図りたい。
適応指導教室においては、一人でも多くの子どもが学校復帰できるよう、さらにきめ細やかな対応で支援をしていきたい。

以上の 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか				施策実現状況の評価
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない	
				②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	教育総務部
部局長名	山本 義範

第2部 第10節 学校・家庭・地域が一緒になって子どもを育むまち

【基本方針】

本市の未来を担う子どもたちの健康や学力、豊かな人権感覚、主体性や調和のとれた人間性を育み、子どもたちの人格の完成をめざします。
 そのため、教職員の資質や能力の向上、教育環境の整備、安全な学校園づくりに努めるとともに、子どもたちがすくすく育つ環境づくりのため、地域や家庭の教育力を活性化し、学校園と連携して教育に取り組めます。

【取り組みのあらまし】

- 1 知・徳・体のバランスのとれた子どもを育みます 5
- 2 教育の質を向上させ、教育条件を整えます 6
- 3 子どもが安心して学校に通えるようにします 7
- 4 地域全体で子どもを育みます 8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 学校・家庭・地域が一緒になって子どもを育むまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			37.1									UP
2 朝食を取っている児童・生徒の割合（上段：小6・下段：中3）	%	92.5 86.3	93.8 85.7	94.4 89.4									% 95.0
3 「愛ガード運動」の協力員数	人	16,262	15,128	13,013									人 18,000

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	3 学校施設耐震化事業	A	-	/									
2	3 収容対策事業	A	A	A									
3	3 大規模営繕・学校整備事業	B	B	/									
4	3 高等学校整備事業	B	B	/									
5	3 幼稚園舎整備事業	C	B	/									
6	3 教材校用備品整備事業	B	B	/									
7	3 幼稚園大型備品整備事業	B	B	/									
8	3 エコスクールの推進	A	A	/									
9	3 小学校の暑さ対策施設整備事業	A	A	A									○
10	3 学校用地取得事業	A	-	/									
平成25年度目標達成度別事業数		A	4	B	1	C	1	D	1				

【施策評価】

教育総務部では、子供たちが安心して学校に通うことが出来るよう、平成25年度は、27年度に整備率100%をめざす学校校舎の耐震化事業について建築営繕室の耐震化特別チームと連携して推進するとともに、児童・生徒の収容対策事業、学校施設の老朽化対策として、学校トイレの洋式化事業や校舎の危険箇所（外部鉄骨階段や外壁等）改修、夏季の熱中症予防としての暑さ対策を重点的に、耐震診断が未実施となっていた幼稚園舎の耐震診断実施など、子供たちの安全確保のための取り組みと快適な教育環境の整備を進めてきた。その結果、学校校舎の耐震化については、25年度に予定していた計画どおりの耐震整備が完了し、また、成和小学校の増築校舎の完成や学校トイレの洋式化整備に着手など、学校・家庭・地域が一緒になって子どもを育むまちづくりの進展に一定の寄与はできたものと考えている。

【今後の施策の進め方】

教育総務部では、平成26年度以降も引き続き、子供たちが安心して学校に通うことが出来るよう、学校園や関係部局と十分な連携・協議を行い、学校園施設の整備を進めていきたい。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	教育総務部
部局長名	山本 義範

第2部 第10節 学校・家庭・地域が一緒になって子どもを育むまち

【基本方針】

本市の未来を担う子どもたちの健康や学力、豊かな人権感覚、主体性や調和のとれた人間性を育み、子どもたちの人格の完成をめざします。

そのため、教職員の資質や能力の向上、教育環境の整備、安全な学校園づくりに努めるとともに、子どもたちがすくすく育つ環境づくりのため、地域や家庭の教育力を活性化し、学校園と連携して教育に取り組みます。

【取り組みのあらまし】

- 1 知・徳・体のバランスのとれた子どもを育みます 5
- 2 教育の質を向上させ、教育条件を整えます 6
- 3 子どもが安心して学校に通えるようにします 7
- 4 地域全体で子どもを育みます 8

指標	単位	実績値										目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 学校・家庭・地域が一緒になって子どもを育むまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			37.1									UP
2 朝食を取っている児童・生徒の割合(上段:小6・下段:中3)	%	92.5 86.3	93.8 85.7	94.4 89.4									% 95.0
3 「愛ガード運動」の協力員数	人	16,262	15,128	13,013									人 18,000

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	3 老朽化プール改修事業			D									
2	3 学校トイレ洋式化事業			A									
3	3 幼稚園・日新高校施設耐震化事業			A									
4	3 学校施設安全対策等整備事業			B									
5	4 学校施設の地域開放	C	A	C								○	
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A		B		C		D					

【施策評価】

【今後の施策の進め方】

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	学校管理部
部局長名	出口 和隆

第2部 第10節 学校・家庭・地域が一緒になって子どもを育むまち

【基本方針】

本市の未来を担う子どもたちの健康や学力、豊かな人権感覚、主体性や調和のとれた人間性を育み、子どもたちの人格の完成をめざします。
 そのため、教職員の資質や能力の向上、教育環境の整備、安全な学校園づくりに努めるとともに、子どもたちがすくすく育つ環境づくりのため、地域や家庭の教育力を活性化し、学校園と連携して教育に取り組めます。

【取り組みのあらまし】

- 1 知・徳・体のバランスのとれた子どもを育みます 5
- 2 教育の質を向上させ、教育条件を整えます 6
- 3 子どもが安心して学校に通えるようにします 7
- 4 地域全体で子どもを育みます 8

指標	単位	実績値										目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 学校・家庭・地域が一緒になって子どもを育むまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			37.1									UP
2 朝食を取っている児童・生徒の割合（上段：小6・下段：中3）	%	92.5	93.8	94.4									% 95.0
3 「愛ガード運動」の協力員数	人	16,262	15,128	13,013									人 18,000

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 学校給食における食育の推進	C	A	A									○
2	1 中学校給食の実施			D									○
3	2 学校規模適正化事業	B	C	B									○
4	2 児童用食器用具更新事業			A									
5	2 子ども・子育て支援事業計画の策定			A									○
6	3 給食施設整備事業	B	B										
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	3	B	1	C	0	D	1				

【施策評価】

学校管理部では、知・徳・体のバランスのとれた子どもを育むため食育や保健指導などを通じて、子どもたちが豊かな人生を送ることができるよう事業実施しています。特に地産地消食材を使用した給食を提供することで効果が期待できると考えます。中学校給食の実施については課題の解決に至らず着手できず課題が残っています。

教育の質を向上させ、教育条件を整えるために就園・就学での経済的支援、学校園の規模や配置の見直しなどを進めています。特に学校規模適正化事業と子ども・子育て支援事業計画の策定については実施途中の事業ですが、次年度に向けて着実に進める必要があります。

【今後の施策の進め方】

新年度も本市の子どもたちの健康や調和のとれた人格形成に寄与するため、また、教育環境の整備、教育条件を整えるため事業を進めていきます。

特に学校規模適正化では未開設の統合委員会を開設するとともに、新設校の整備を積極的に行います。また、子ども・子育て支援事業計画の策定については子どもすこやか部と連携し新制度に向けた検討を重ね、スムーズな事業実施を実現していきたいと考えます。

以上の□□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	学校管理部
部局長名	出口 和隆

第3部 第17節 安心して子どもを生み、育てられるまち

【基本方針】

子どもを慈しむとともにいとしく思い、子育てを喜び、子どもの健やかな成長を願う気持ちは、だれもが持っています。安心して出産、子育てができる環境づくりによって、子どもを育てる喜びが実感でき、すべての子どもの健やかな成長と、子どもの権利が尊重され、子どもの生きる力や夢を育むことができるまちをめざします。

【取り組みのあらまし】

1 地域全体で子育てを見守ります	5 すべての人が生活しやすい環境を整備します
2 子どもと親の健やかな心と体づくりを進めます	6 質の高い福祉サービスを利用できるようにします
3 だれもが安心できる育児環境を整備します	7
4 一人親家庭の子育てを応援します	8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 安心して子どもを生み、育てることができるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			31.3									UP
2 子育て支援事業の延べ利用者数	人	151,363	153,091	205,064									人 130,000
3 保育所の入所待機児童数	人	192	214	230									人 0

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	2 子ども・子育て支援事業計画の策定			A									○
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	0	C	0	D	0				

【施策評価】

学校管理部では、安心して子どもを生み、育てられるまちをめざして事業実施しています。特に子ども・子育て支援事業計画の策定については実施途中の事業ですが、次年度に向けて着実に進める必要があります。

【今後の施策の進め方】

新年度も安心して子どもを生み、育てられるまちをめざして事業を進めていきます。特に、子ども・子育て支援事業計画の策定については子どもすこやか部と連携し新制度に向けた検討を重ね、スムーズな事業実施を実現していきたいと考えます。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
①

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	学校管理部
部局長名	出口 和隆

第4部 第23節 農業と農地空間を大切にすま

【基本方針】

安全で安心できる農産物の提供や地産地消、食育を通じて、都市農業を身近に感じ、農業と農地空間を大切にすまをつくりす。農業の持続と、都市の貴重な緑地である農地空間の保全のため、次世代の担い手を育成していくとともに、農業と農地空間の持つ公益的な役割をさらに発展、拡大す。安全で安心できる農産物の提供や地産地消、食育を通じて、都市農業を身近に感じ、農業と農地空間を大切にすまをつくりす。農業の持続と、都市の貴重な緑地である農地空間の保全のため、次世代の担い手を育成していくとともに、農業と農地空間の持つ公益的な役割をさらに発展、拡大す。

【取り組みのあらし】

- 1 安全で新鮮な農産物を消費者に届けす 5 有害鳥獣被害への対策を進めす
- 2 東大阪市の特産物を地域ブランドとして発信す 6
- 3 農業と農地空間の担い手を育てす 7
- 4 農地空間の持つ価値や機能を生かす 8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 農業と農地空間を大切にすまづくりが進められていると思う市民の割合	%			22.8									UP
2 農地面積	ha	242	242	239									ha 258
3 大阪府が認定したエコ農業者数	人	143	161	180									人 100

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらしNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 学校給食における食育の推進	C	A	A									○
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	0	C	0	D	0				

【施策評価】

学校管理部では、地産地消、食育を通じて通じて、農業と農地空間を大切にすまづくりに寄与するよう事業実施しています。特に地産地消食材を使用した給食を提供することでその効果が期待できると考えす。

【今後の施策の進め方】

学校給食の規格を満たす農作物を供給できる農家を増やすことが課題ですが、農政課との協力で事業実施していきたいと考えす。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思ひすか			
① とても そう思ひす	② そう思ひす	③ そう思ひす ない	④ まったく そう思ひす ない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	学校管理部
部局長名	出口 和隆

行財政編 効率的で健全な行財政運営が行われるまち

【基本方針】

地方自治体の基本的な役割である「住民の福祉の増進」を果たしていくためには、市の将来を見越し、社会経済情勢の変化などにも十分に対応ができる「強い自治体」となる必要があります。そのため、市民ニーズや社会情勢などに対応できる体制づくりや、職員の能力向上、財政基盤の強化、業務の電子化などを進めることにより、効率的かつ健全な行財政運営が行われるまちにします。

【取り組みのあらまし】

- 1 将来を見越した行財政改革に取り組みます 5
- 2 これからの行政運営を担う人材を確保し、育成、活用します 6
- 3 歳入を確保し、市役所の財政力を向上させます 7
- 4 市役所の電子化を進め、市民の利便性や事務の効率を向上させます 8

指標	単位	実績値										目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 効率的で健全な行財政運営が進められていると思う市民の割合	%			22.2									UP
2													
3													

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	3 学校給食費滞納解消事業	B	A										
2	3 奨学金の滞納解消			B									○
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	0	B	1	C	0	D	0				

【施策評価】

学校管理部では、奨学金返還金や学校給食費などの納付金について、納付しやすい環境整備を進め、自主納付率の向上に努めるとともに、徴収体制の強化などにより歳入確保に努めています。特に奨学金返還金の滞納解消に努め、新たな未収金の発生を防止することでその効果が期待できると考えます。

【今後の施策の進め方】

未収金特別対策室からの指摘事項である、返還者が納付しやすい環境を整え自主納付を促すとともに、引き続き督促を強化していきたいと考えます。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	社会教育部
部局長名	川崎 睦子

第2部 第7節 歴史や伝統を大切にすまち

【基本方針】

歴史遺産や伝統はいったん失うと元には戻らない貴重な財産であることから、市や地域の、歴史や伝統を大切にすまちをつくりまします。

そのため、郷土の歴史遺産の調査、研究や、その保存と活用に努め、身近な歴史や伝統の啓発を行い、市民と共に文化財保護を進めます。また、古文書などの歴史資料を調査、整理ならびに保存、活用するとともに、古代から現代までを対象とした市史の編さんに努めます。

【取り組みのあらまし】

- 1 市民と共に文化財保護を進めます 5
- 2 歴史・文化を感じられるまちづくりを進めます 6
- 3 文化財の普及啓発を進めます 7
- 4 市史の編さん、活用を進めます 8

指標	単位	実績値											目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32		
1 歴史や伝統を大切にすまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			41.2										UP
2 一般公開している文化財施設の入館者数	人	30,340	27,932	27,408										人 30,000
3 文化財ボランティアの延べ活動者数	人	909	1042	1050										人 1,500

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1	1 文化財ボランティア育成事業	C	B	B										
2	2 河内寺廃寺跡史跡公園整備事業	A	A	D										
3	2 指定文化財保存事業	D	A	D										
4	2 埋蔵文化財発掘調査事業	A	A											
5	3 文化財啓発事業			B										
6														
7														
8														
9														
10														
平成25年度目標達成度別事業数		A	0	B	2	C	0	D	2					

【施策評価】

昨年度に引き続き本年度も文化財ボランティア活動メニューを増やし、市民と共に文化財の保護と周知に努めた。

河内寺廃寺の整備事業について、国の事業採択をめざし文化庁と協議を行い、平成27年度の整備実施工事着手に向けて準備を進めた。指定文化財については、新たな文化財指定に向けて調査を進めた。

また、新たに文化財啓発事業として展示会をボランティアの協力を得ながら開催し市民への啓発を図った。

【今後の施策の進め方】

文化財ボランティア育成事業については、身近な歴史や伝統に親しみ理解を深めてもらえるよう多様な活動を一層充実させ、市民とともに文化財保護・活用に取り組んでいく。河内寺廃寺跡公園整備事業については、市民の憩いの場として、子供達の文化財に触れられ学べる場として活用できるよう、平成26年度実施設計を行うとともに周辺の環境づくりについて検討を進める。

指定文化財保存事業には、文化財「保護」の確実な推進を、また、文化財啓発事業は、展示会等を通じて郷土の文化財を「啓発」する施策の推進を両輪として、本市の歴史や伝統を大切に、愛着のもてるまちづくり施策を推進する。

以上の□□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	社会教育部
部局長名	川崎 睦子

第2部 第9節 **いくつになっても学べるまち**

【基本方針】

豊かな暮らしや充実した人生を送るため、市民が生涯を通して主体的に学び合い育ち合い、自らを高めていくことができるまちづくりを進めます。

そのため、市民が学べる「場所」や「機会」の提供や、「人材」に関する情報などを手に入れやすい生涯学習の環境づくりを進めます。また、市民自らが、あらゆる場所において、あらゆる機会を通じ、生涯にわたって楽しく学べるよう支援します。

【取り組みのあらまし】

- 1 生涯学習に関する情報を手に入れやすくします 5
- 2 利用しやすい生涯学習の場を提供します 6
- 3 参加しやすい学習機会を提供します 7
- 4 生涯学習を支える人材を発掘します 8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 生涯学習活動が盛んだと思う市民の割合	%			27.3									UP
2 生涯学習に関する講座やイベントの延べ参加者数	人	712,613	808,419	未									人 873,000
3 市民一人当たりの図書貸し出し冊数	冊	3.97	3.87	3.92									冊 4.27

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 生涯学習推進事業	A	A	未									
2	2 市民会館等文化施設整備事業	C	B										
3	2 永和図書館整備事業	C	B										
4	2 図書館運営事業	A	A	A								○	
5	3 国際識字年推進事業	A	A	B									
6	3 連携7大学公開講座	A	A	B									
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	2	C	0	D	0				

【施策評価】

生涯学習情報誌を官民協働で発行し、市内公共施設に設置するとともに全戸回覧を実施して、より多くの市民が生涯学習に関する情報を簡単に入手できるようにした。花園図書館の閉館日の変更について、平成25年12月1日より休館日月曜日から火曜日に変更するとともに、開館日を増やしいずれかの図書館が開館するなど利用者のサービス向上を図った。また、平成25年8月からブックスタートを開始し、「親と子の本の時間」をつくり子育て支援を図った。国際識字年推進事業については、第2次ひがしおおさか識字計画にかわる「東大阪市識字施策推進方針」素案を策定した。大学合同公開講座は、平成25年度も引き続き7大学で開催することとし、大学と連携した学習機会をより充実した。

【今後の施策の進め方】

市民が生涯学習に関する情報を容易に入手できるよう「情報誌」の内容充実を図るとともに、市内の連携強化により、さらに多くの市民ニーズに対応した学習プログラムを提供するなど、「第三次東大阪市生涯学習推進計画」の推進に努める。「東大阪市識字施策推進方針」を策定し非識字の克服のための様々な識字施策の実施を図る。また大学合同公開講座では、各大学の特色を活かし、市民にとってより魅力のあるプログラムによる参加しやすい講座を提供し、大学との連携による生涯学習の場の創出に努める。

以上の□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	社会教育部
部局長名	川崎 睦子

第2部 第10節 学校・家庭・地域が一緒になって子どもを育むまち

【基本方針】

本市の未来を担う子どもたちの健康や学力、豊かな人権感覚、主体性や調和のとれた人間性を育み、子どもたちの人格の完成をめざします。
 そのため、教職員の資質や能力の向上、教育環境の整備、安全な学校園づくりに努めるとともに、子どもたちがすくすく育つ環境づくりのため、地域や家庭の教育力を活性化し、学校園と連携して教育に取り組めます。

【取り組みのあらまし】

- 1 知・徳・体のバランスのとれた子どもを育みます 5
- 2 教育の質を向上させ、教育条件を整えます 6
- 3 子どもが安心して学校に通えるようにします 7
- 4 地域全体で子どもを育みます 8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 学校・家庭・地域が一緒になって子どもを育むまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			37.1									UP
2 朝食を取っている児童・生徒の割合（上段：小6・下段：中3）	%	92.5 86.3	93.8 85.7	94.4 89.4									% 95.0
3 「愛ガード運動」の協力員数	人	16,262	15,128	13,013									人 18,000

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	4 総合的教育活性化事業	C	C	A									○
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	0	C	0	D	0				

【施策評価】

学校・自治会・PTA・青少年育成団体などで構成する地域教育協議会が行う地域教育活動、学校教育活動、家庭教育活動を支援し、地域全体で子どもの安全を守り健やかな成長を育んだ。しかし、事業のさらなる活性化が求められる地域も存在する。

【今後の施策の進め方】

総合的教育力活性化事業については、各地域の特性を活かした事業展開を促進するとともに、各地域教育協議会の取り組み状況の情報交換と共有を進めていく。また、家庭教育、学校教育への支援に重点を置いた活動をさらに充実させていき、地域や家庭における教育力の一層の活性化を図るとともに、学校園・家庭・地域が一体となって子どもを育むまちづくりを推進する。

以上の□□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
③

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	社会教育部
部局長名	川崎 睦子

第2部 第11節 青少年が健やかに育つまち

【基本方針】

青少年が自らに誇りを持ち、責任を自覚し、たくましく健やかに成長することは、市民すべての願いです。

そのため、青少年が関心を持てるような活動の場や機会を広めるとともに、保護者だけでなく地域の市民が協力して青少年の健全な育成を見守ることで、青少年が社会的に自立し、コミュニケーション能力や体力が向上するよう、青少年が健やかに育つまちづくりに取り組みます。

【取り組みのあらまし】

1 青少年の健全育成につながる情報提供、啓発を進めます	5
2 青少年の立場で活動の場や機会を提供します	6
3 青少年の健全育成を見守り、応援します	7
4	8

指標	単位	実績値										目標値	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 青少年が健やかに育つまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			24.0									UP
2 不良行為の補導件数	件	4,896	5,544	7,837									DOWN
3 青少年健全育成啓発事業の参加者数	人	100	190	300									UP

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価										第2期市政マニフェスト	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	1 青少年健全育成推進事業	A	A	A									○
2	3 留守家庭児童育成事業	A	A	B									
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	1	C	0	D	0				

【施策評価】

「家庭教育の手引書」を新1年制の全保護者に配布し、子どもの基本的な生活習慣の確立や、保護者の不安や悩みの解消に役立てた。

留守家庭児童育成事業については、放課後保護者が就労等で家庭にいない小学校低学年の児童を預かる留守家庭児童育成クラブを支援し、青少年の健全育成を見守ったが、開設時間の延長や土曜日開設について全クラブ実施には至らなかった。

【今後の施策の進め方】

青少年育成推進事業については、大阪府学力学習状況調査における東大阪市のデータ等を記載した「家庭教育手帳-東大阪版-」を平成26年4月に配布する。

留守家庭児童育成事業については、平成24年8月の子ども・子育て関連法が改正された中で、児童福祉法も対象年齢の拡大やクラブの設備及び運営の基準を市町村において条例化することが規定されたため、27年度に向けて施設整備や条例制定を行っていく。また、時間延長や土曜日開設については、全クラブが実施するよう引き続き要請を行うが、運営手法については平成27年度の子ども・子育て新システム開始に合わせて見直しを行っていく。

以上の□内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	社会教育部
部局長名	川崎 睦子

第2部 第12節 スポーツを楽しめるまち

【基本方針】

「ラグビーのまち東大阪」としてラグビーの持つイメージを生かし、スポーツに対する市民の関心や意欲を高め、市民生活に健康と豊かさをもたらすことができるよう、スポーツを楽しめるまちをつくります。そのため、市民がスポーツへの関心を高めることができる、さまざまなスポーツを楽しむ機会を提供します。また、市民が安全で利用しやすい施設でスポーツを日常的に行えるようにします。そして、それらの機会を通じて、市民の健康づくりや青少年の健全な育成につなげます。

【取り組みのあらまし】

- 1 だれもが身近でスポーツに親しめる機会を提供します 5
- 2 安全で利用しやすい施設整備を進めます 6
- 3 「ラグビーのまち東大阪」のまちづくりを進めます 7
- 4 8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 生涯を通してスポーツを楽しめるまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			33.1									UP
2 市民スポーツ大会等の参加者数	人	64,339	59,093	58,971									UP
3 東大阪アリーナの延べ利用者数	人	572,510	644,175	538,768									UP

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	2 学校体育施設等開放事業	B	B	未									○
2	2 学校プール開放事業	A	A	B									○
3	2 児童文化スポーツセンター改修事業	A	-										
4	3 全国ラグビーフットボール大会支援事業	A	A										
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	0	B	1	C	0	D	0				

【施策評価】

学校体育施設等開放事業については、全54小学校、8中学校において開放を実施した。また、25年度中に全中学校開放実施に向け協議を行ったところ、平成26年度より新たに1中学校が実施することとなった。

学校プール開放事業については、53小学校での実施となった。

学校体育施設の市民への開放、学校夏期休業中の小学校プールの地域児童への開放等、市民の体力増進の場として、より市民が利用しやすい施設の有効活用に努めた。

【今後の施策の進め方】

学校体育施設等開放事業については、学校教育との調整を図りながら、未実施の中学校体育施設の開放に努めていく。

学校プール開放事業については、地域の理解と協力を求め、より安全な事業実施に努めるが、地域の実情により実施が困難となる地域が出てきており、実施規定回数の緩和等、実施方法の見直しを検討する必要がある。

以上の□□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	人権教育室
部局長名	谷口 美佐子

第1部 第2節 人権を尊重するまち

【基本方針】

人権は、すべての人が生まれながらに持っている、最も基本的な権利であり、人権を尊重した、いかなる差別もない豊かで明るいまちをつくりたい。

そのため、市民や事業者、教育関係者、関係機関、市役所などが連携、協力し、同和問題や、外国籍住民、障害のある人、子ども、高齢者、女性などの人権問題の解決に向け、横断的な取り組みを進めます。

【取り組みのあらまし】

- 1 あらゆる施策に人権尊重の視点を取り入れます 5
- 2 効果的な人権啓発・人権教育を進めます 6
- 3 情報・相談機能を充実させます 7
- 4 8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 人権を尊重したまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			29.9									UP
2 人権講座の延べ参加者数	人	1,012	1,140	1,087									人 1,000
3 市職員の人権研修受講者数	人	979	1,130	1,001									UP

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	2 人権教育の推進	A	A	A									
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	0	C	0	D	0				

【施策評価】

事業の実施値は一部目標に達しているが、これまで積み上げてきた取り組みさらなる継承と発展に努めるとともに、それにむけたシステムの構築をすすめる必要がある。

【今後の施策の進め方】

誰もが住みよいまちには欠かせない、人権尊重を基本とし、いかなる差別を許さない心を育てるために、学校・保護者・地域が協力、連携して人権教育をすすめるための支援をする。

以上の□□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②

【様式2】

平成25年度 施策管理報告書(部局用)

部局名	人権教育室
部局長名	谷口 美佐子

第2部 第10節 学校・家庭・地域が一緒になって子どもを育むまち

【基本方針】

本市の未来を担う子どもたちの健康や学力、豊かな人権感覚、主体性や調和のとれた人間性を育み、子どもたちの人格の完成をめざします。
 そのため、教職員の資質や能力の向上、教育環境の整備、安全な学校園づくりに努めるとともに、子どもたちがすくすく育つ環境づくりのため、地域や家庭の教育力を活性化し、学校園と連携して教育に取り組めます。

【取り組みのあらまし】

- 1 知・徳・体のバランスのとれた子どもを育みます 5
- 2 教育の質を向上させ、教育条件を整えます 6
- 3 子どもが安心して学校に通えるようにします 7
- 4 地域全体で子どもを育みます 8

指標	単位	実績値											目標値
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H32	
1 学校・家庭・地域が一緒になって子どもを育むまちづくりが進められていると思う市民の割合	%			37.1									UP
2 朝食を取っている児童・生徒の割合（上段：小6・下段：中3）	%	92.5 86.3	93.8 85.7	94.4 89.4									% 95.0
3 「愛ガード運動」の協力員数	人	16,262	15,128	13,013									人 18,000

【主な実施事業及びその評価】

No.	取り組みのあらましNo.及び実施計画事業名	後期基本計画期間における評価											第2期市政マニフェスト
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
1	2 人権教育の推進	A	A	A									
2	3 いじめ防止対策推進事業	A	A										
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
平成25年度目標達成度別事業数		A	1	B	0	C	0	D	0				

【施策評価】

事業の実施値は平成24年度と比較すると、成果も課題も見られるところがあり、システムの構築をすすめることによって、取り組みの継承と発展に努める必要がある。

【今後の施策の進め方】

子どもたちの豊かな人権感覚、主体性や調和のとれた人間性を育むために、教職員の資質や能力の向上と、地域や家庭の教育力を活性化し、学校園と連携して取り組みをすすめる。

以上の□□ 枠内にご記入いただいた後、①～④の区分で施策の実現状況を評価してください

施策が実現できていると思いますか			
① とても そう思う	② そう思う	③ そう思わない	④ まったく そう思わない

施策実現状況の評価
②